STAR WARS

スター・ウォーズ

A long time ago in a galaxy
far, far away,
an incredible adventure
took place……



製作意図★ジョージ・ルーカス

私は映画を見に行く人なら誰でも，情緒的な体験をもつことを好むと思います。この気持は基本的なもので，たとえあなたが7才であろうと，17才，いや70才であろうとも変わらないものです。その体験が強ければ強いほど，そのできばえはすぐれているといえます。私はずっとアドベンチャー映画が好きでした。ところが「アメリカン・グラフィティ」を完成した後で，ウエスタンの凋落以来，神話的ファンタジー映画のジャンルで観客を喜ばせる映画が欠けていることを痛感いたしました。そこで，私は，“何という恐ろしいことが……一体人類はどうなったのか？”という種の問題提起の映画を作らずに，その穴埋めをすることを思い立ったのです。しかし、その映画も思いっきり想像力豊かに描き，日常生活のきびしさが観客と共に劇場についてこないものにしよう，と思ったのです。つまり，2時間の間，すべてを忘れられる映画を作ろうと考えたのです。失われた映画のジャンルを再興し，空間,ファンタジー，アドベンチャー，サスペンスなどの要素が互いにはたらきかけ養分を与え合うように，それに新しい広がりをもたせることが私の狙いなのです。故に，ある意味で「スター・ウォーズ」は，われわれ誰もの中にある，子供心のために作られた映画なのです。

★第50回アカデミー賞
《音楽賞》《美術賞》《衣裳デザイン賞》
《編集賞》《録音賞》《視覚効果賞》
《特殊音響効果賞》受賞

★ゴールデン・グローブ最優秀映画音楽賞受賞(ジョン・ウィリアムス)

★ロサンゼルス批評家協会最優秀作品賞受賞
〃　音楽賞受賞

★アメリカ映画研究所選出〝史上最高の映画〟10本に入賞
全米TV視聴者選出最優秀映画賞受賞

★全米サイエンス・フィクション、ファンタジー&ホラー・アカデミー選出
最優秀サイエンス・フィクション作品賞受賞
監督賞受賞(ジョージ・ルーカス)
助演男優賞受賞(アレック・ギネス)
脚本賞受賞(ジョージ・ルーカス)
音楽賞受賞(ジョン・ウィリアムス)
特殊効果賞受賞(ジョン・ダイクストラ/ジョン・スティアース)
メーキャップ賞受賞(リック・ベイカー/スチュアート・フリーボーン)
衣裳デザイン賞受賞(ジョン・モロ)

★グラミー賞最優秀映画音楽賞受賞
インストゥルメンタル作品賞受賞
インストゥルメンタル・レコード賞受賞

STAR WARS
スター・ウォーズ

20世紀フォックス提供/ルーカス・フィルムLTD作品
70㎜パナビジョン/テクニカラー
〈オリジナル・サントラ盤=20世紀レコード〉ドルビー・サウンドシステム DOLBY SYSTEM®
原作ジョージ・ルーカス(角川書店刊)

★INTRODUCTION

「私は大人になりかけた子供のために，あるいは子供の心を残している大人のために，少しの時間楽しんでもらえれば，と思ってこの物語を書いた」──「失われた世界」の著者アーサー・コナン・ドイルの序文。

大人になってしまった人間にとって最も素晴らしい玩具，彼らの想像をかきたて，奇抜な思いつきにひたるような楽しみを与えてくれる玩具，それは映画ではないだろうか。

最新の映画技術が作り得た映画の魔術を駆使することによって，ジョージ・ルーカスは少年の頃の空想に満ちた世界─「フラッシュ・ゴードン」を愛する彼が親しんだ本や映画の，謎と冒険に満ちた世界を作り出した。

「スター・ウォーズ」は最先端のハードウエアの情報を駆使したスペース・アドベンチャーでありながら，そこに剣戟と魔術のロマンチック・ファンタジーを出現させたアクション映画なのだ。

ルーカスが目指したのは，観客を映画館の客席から，数万光年もかなたの未知の銀河宇宙へと連れ去るような，彼らがそう感じるようなそんな想像力にあふれた娯楽体験を提供することだった。

「スター・ウォーズ」は英雄たちと悪漢たちの物語であり，若く純粋な少年と気高く誇りに満ちた王女とのロマンスである。「スター・ウォーズ」はまた，無垢から知へのオデッセイ，ある世代から次の世代への知の伝達である。これは魔法が生き，愛と優しさが悪徳を打ち破る世界なのだ。

77年５月25日，28都市43館で封切られた「スター・ウォーズ」はたちまちのうちに全米を興奮のうずにまき込み，460館，1000館，1600館と上映館数を増やしながら続映中である。封切り後７カ月の間に２億ドルという圧倒的な興行収入をあげたこの作品は，全米から既に１億2000万ドルの配給収入をあげた「ジョーズ」の記録を超えて新記録を更新しつつある。「スター・ウォーズ」の大ヒット以来，ハリウッドに「スペース・レース」という言葉が生まれたほどＳＦ映画が作られ始めている。

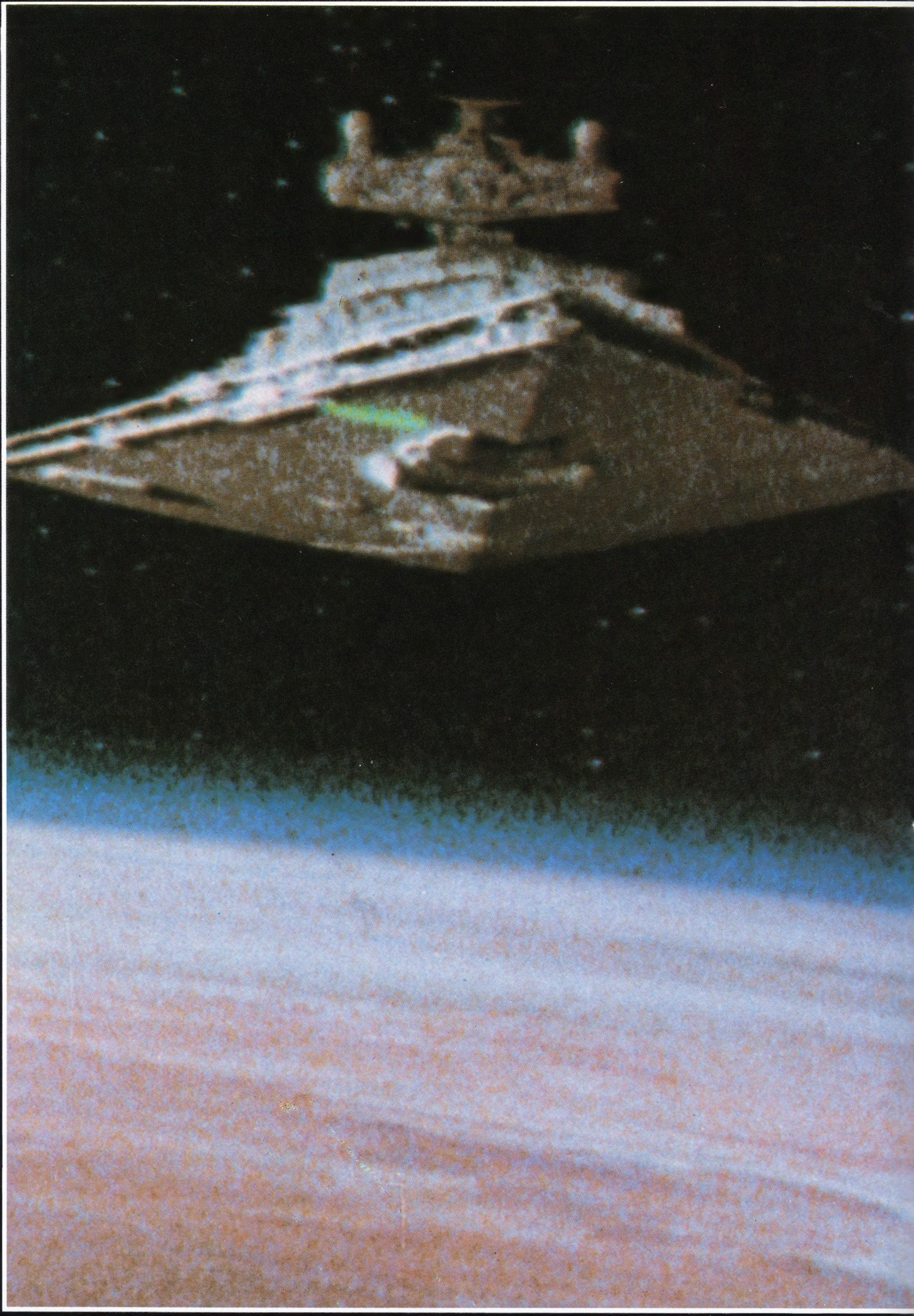
原作・脚本・監督のジョージ・ルーカスは監督第２作の「アメリカン・グラフィティ」で50年代のロックンロール・ブームのリバイバルを引き起こしたハリウッドを代表する若手監督である。

製作者であるゲイリー・カーツはコッポラやルーカス同様，南カリフォルニア大学映画学科出身の新進プロデューサー。1940年生まれ。「アメリカン・グラフィティ」のプロデューサーでもある。

驚異的な特殊効果を駆使した撮影にはイギリス映画界最高のチームが組まれている。「2001年宇宙の旅」のダグラス・トランブルの後継者とされているジョン・ダイクストラ，「メリー・ポピンズ」でアカデミー賞を獲得したマット・プロセスの名手ピーター・エレンショー，ジョン・スティアーズは「007/サンダーボール作戦」で特殊効果部門のアカデミー賞を受賞している。

音楽担当のジョン・ウィリアムスは「屋根の上のバイオリン弾き」「ＪＡＷＳジョーズ」でアカデミー賞を受賞している。今，最も活躍している映画音楽の作曲者の一人である。彼はこの作品のために２ヵ月かけてオリジナル音楽を作曲し，みずからロンドン交響楽団を指揮した。

撮影は「オーメン」で素晴らしいカメラワークを見せたギルバート・テイラーが当り，「時計じかけのオレンジ」のジョン・バリーが30に及ぶ見事なセットを建

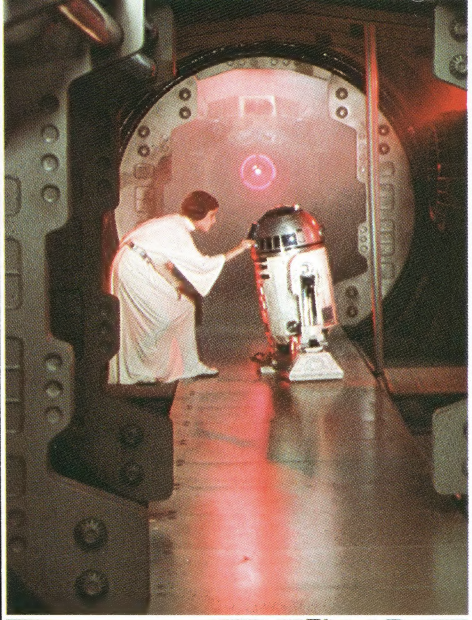


造。そして，「キャリー」のポール・ハーシュ，「タクシー・ドライバー」のマーシャ・ルーカス，「カッコーの巣の上で」のリチャード・チューという一流どころが共同編集している。

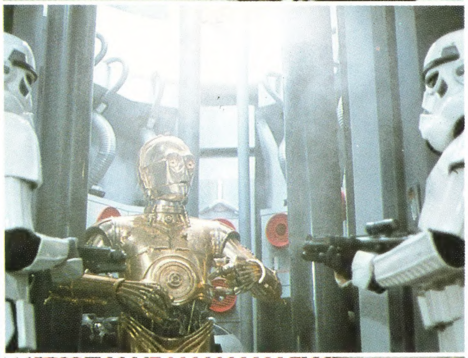
主役のルーク・スカイウォーカーを演じるマーク・ハミル，レーア姫を演じるキャリー・フィッシャーはともにルーカスが多くの候補者の中から選んだ新スターである。マーク・ハミルは数年間テレビで活躍してきたが映画は「エリックの青春」についで2回目。キャリー・フィッシャーは「シャンプー」に出演したことがあるが，本格的な出演作は「スター・ウォーズ」が初めて。父はエディ・フィッシャー，母はデビー・レイノルズ。

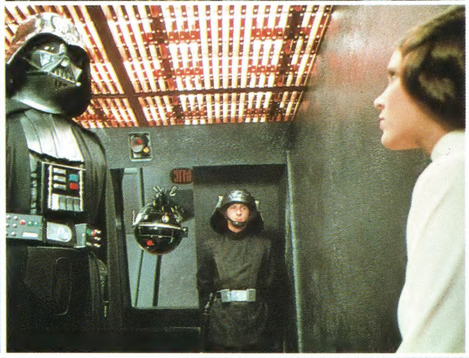
脇を固めるのはイギリスのベテラン俳優。アレック・ギネスは「戦場にかける橋」「アラビアのロレンス」などで知られるサーの称号を持つ名優。ピーター・カッシングはハマー・フイルム製作のホラー・フイルムでお馴染みのベテランである。

（上映時間＝2時間1分）

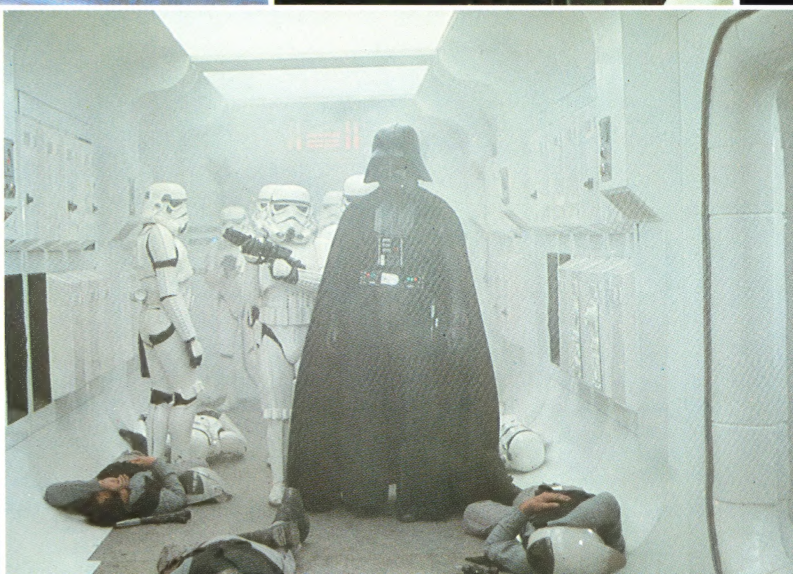












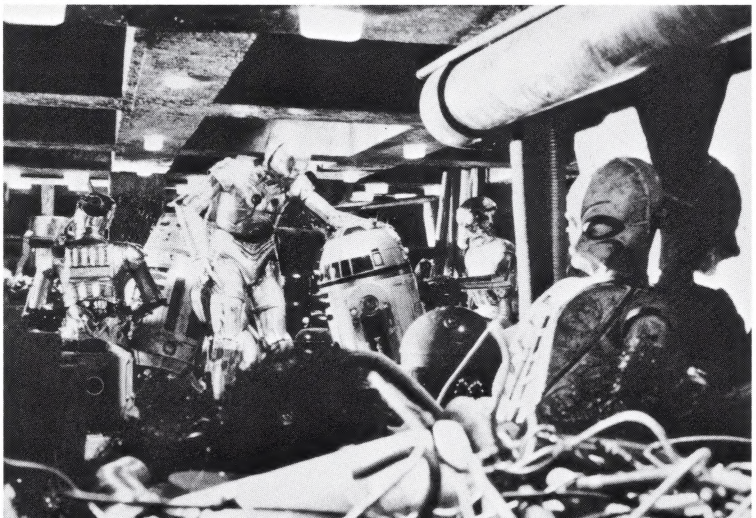
★キャスト★

ルーク・スカイウオーカー…マーク・ハミル
ハン・ソロ……………ハリソン・フォード
レーア・オーガナ姫
……………キャリー・フィッシャー
偉大なモフ・ターキン
……………ピーター・カッシング
ベン（オビ・ワン）ケノービ
……………………アレック・ギネス
シー・スリーピオ（C－3PO）
……………アンソニー・ダニエルス
アールツー・ディーツー（R2－D2）
……………………ケニー・ベイカー
チューバッカ………ピーター・メイヒュー
ダース・ベイダー……デビッド・プラウズ
オーエン・ラース（ルークの叔父）
……………………フィル・ブラウン
ベル・ラース（ルークの叔母）
…………………シェラ・フレイザー
ジャワスの首領………ジャック・パービス
〈反乱軍兵士たち〉
ドドンナ将軍…アレックス・マクリンドル
ウィラード将軍…………エディ・バーン
レッド・リーダー…………ドリュー・ヘンリー
レッド・ツー(ウェッジ)…デニス・ローソン
レッド・スリー(ビッグス)
……………ギャリック・ヘイゴン
レッド・フォー(ジョン・〝ディー〟)
……………………ジャック・クラフ
レッド・シックス(ポーキンス)
………ウィリアム・フットキンズ
ゴールド・リーダー…アンガス・マクィネス
ゴールド・ツー……ジェレミー・シンデン
ゴールド・ファイブ…グラハム・アシュレー
〈銀河帝国兵士たち〉
タギ将軍………………ドン・ヘンダーソン
モッティ将軍
………リチャード・ル・パーメンティエー
突撃隊員………レスリー・スコフィールド

★スタッフ★

脚本・監督…………ジョージ・ルーカス
製　作………………ゲイリー・カーツ
美　術……………………ジョン・バリー
撮　影………………ギルバート・テイラー
音　楽…………ジョン・ウィリアムス
演　奏……………………ロンドン交響楽団
特殊視聴覚効果監督
……………………ジョン・ダイクストラ
特殊撮影及びメカニカル効果
……………………ジョン・スティアーズ
編　集……………………ポール・ハーシュ
……………………マーシャ・ルーカス
……………………リチャード・チュー
プロダクション・スーパーバイザー
……………………ロバート・ワッツ
プロダクション・イラストレイション
……………………ラルフ・マッカリー
衣裳デザイン……………………ジョン・モロ
アート・ディレクター
……………………ノーマン・レイノルズ
……………………レスリー・ディレイ
メーキャップ
………スチュアート・フリーボーン
音　響………………………デレク・ボール
キャスティング…………アイリーン・ラム
……………………ダイアン・クリテンデン
……………………………ビック・ラモス
音ネガ編集指導………………サム・ショー
特殊会話及び特殊音響効果…ベン・バート
音ネガ編集……ロバート・R・ラトレッジ
………………ゴードン・デビッドソン
……………………………ジーン・コルソー
音楽編集指導…………ケネス・ワンバーグ
レコーディング・ミキサー
……………………ドン・マクドゥガル
……………………………ボブ・ミンクラー
レコーディング・ミキサー…レイ・ウエスト
……………………………マイク・ミンクラー
……………………レスター・フレショルツ
……………………リチャード・ポートマン
ドルビー・サウンド・コンサルタント
……………………ステファン・カッツ
オーケストレイション
………ハーバート・W・スペンサー
ミュージック・スコアリング・ミキサー
……………………エリック・トムリンソン
編集助手…………トッド・ボーケルハイド
……………………………ジェイ・ミラクル
……………………………コリン・キチンス
……………………………ボニー・コーラー
カメラマン……………………ロニー・テイラー
……………………………ジョフ・グローバー
装　置…………………ロジャー・クリスチャン
プロダクション・マネージャー
……………………ブルース・シャーマン
演出助手……………………トニー・ウェイ
……………………………ゲリー・ガビガン
……………………………テリー・マッデン
ロケーション・マネージャー
……………………………アーノルド・ロス
製作助手…………………バニー・オルサップ
アシスタント・トゥ・ディレクター
…ルーシー・オートリー・ウイルソン
プロダクション・アシスタント
……………………………………パット・カー
……………………………………ミキ・ハーマン
エキストラ監督………………ロン・タビーラ
小道具………………フランク・ブルートン
衣裳指導……………………………ロン・ベック
スタント・コオーディネーター
……………………ピーター・ダイヤモンド
コンティニュイティ………アン・スキナー
タイトル……………………………ダン・ペリ
撮影第2班……………………キャロル・バラード



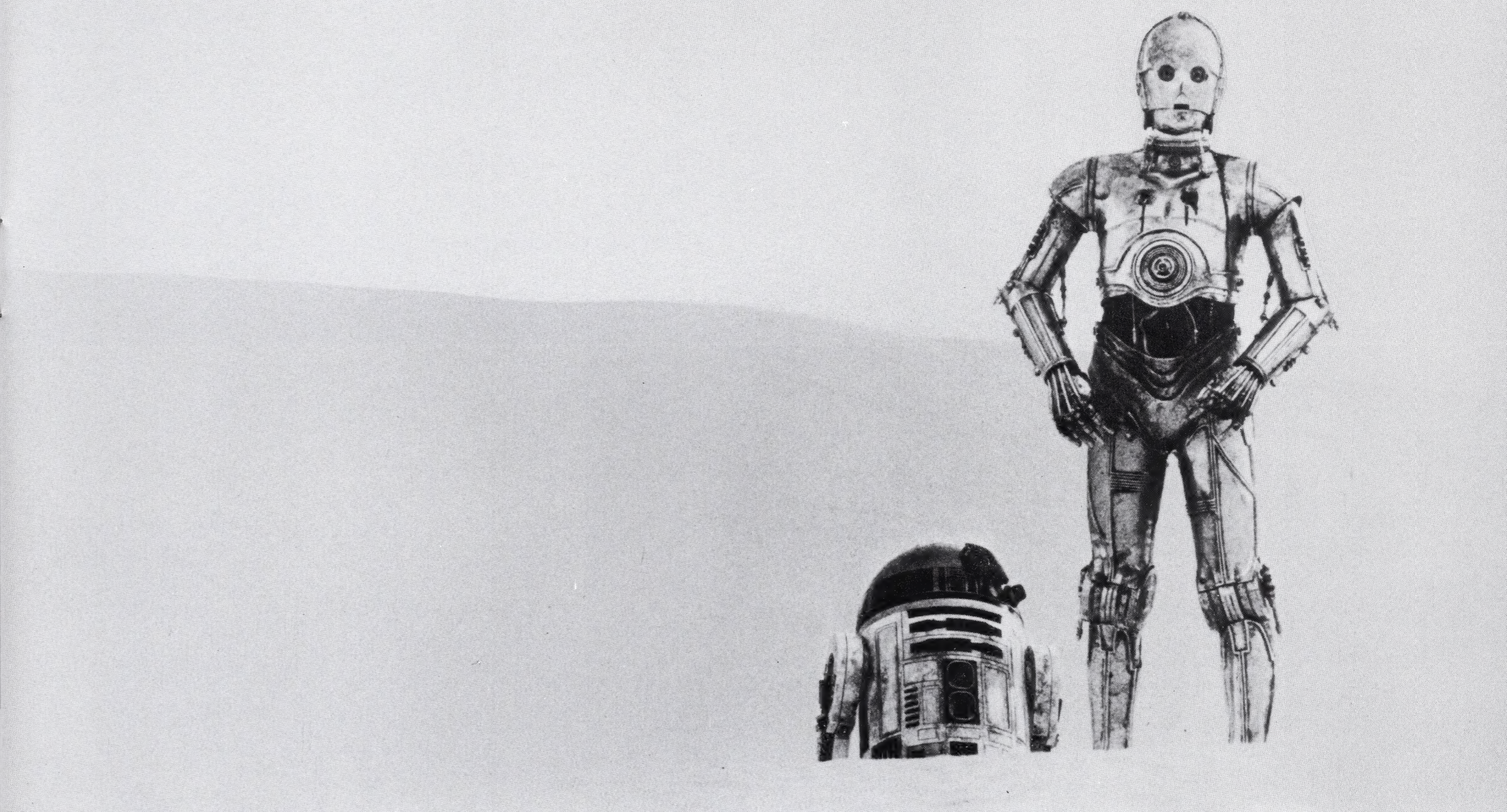


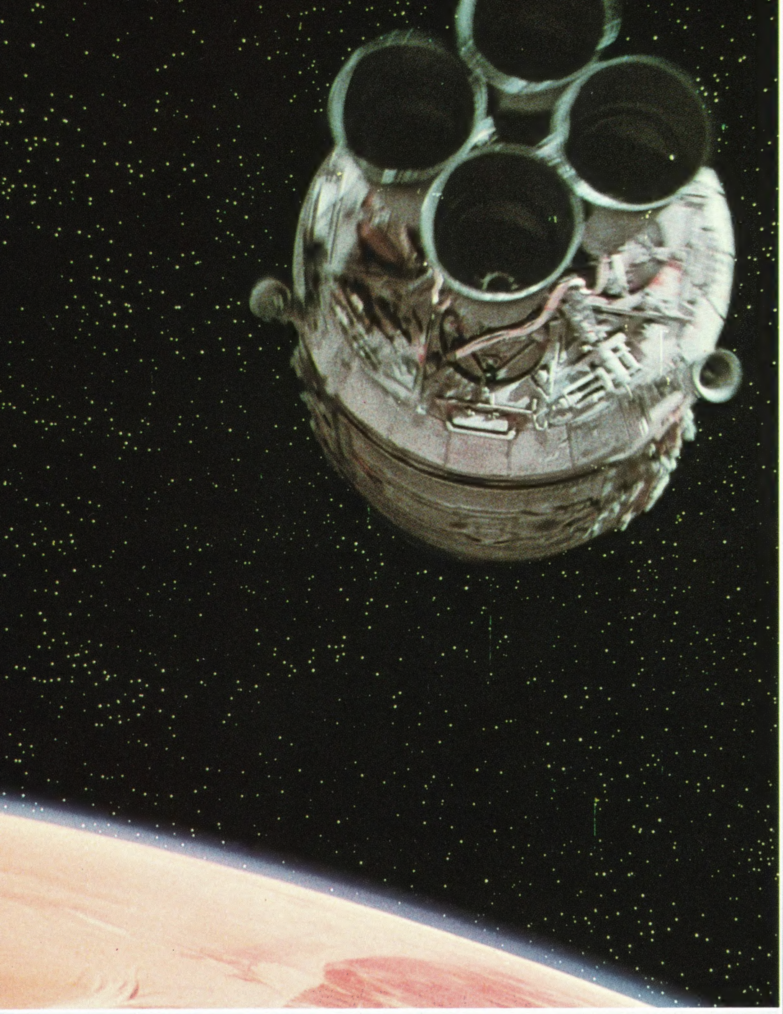
撮影第２班……………リック・クレメンテ
……………………ロバート・ダルバ
……………………タク・フジモト
美術第２班……………レオン・エリクソン
……………………アル・ロカテリ
プロダクション・マネージャー第２班
……………………デビッド・レスター
……………………ピーター・ヘラルド
……………………ペピ・レンジ
メーキャップ第２班……リック・ベイカー
……………ダグラス・ベズウィック
音ネガ編集助手…ロクサーヌ・ジョーンズ
……………………カレン・シャープ
プロダクション・コントローラー
……………………ブライアン・ギブス
ロケーション・オーディター
……………………ラルフ・M・レオ
オーディター助手…スティーブ・カリップ
……………………ペニー・マッカーシー
……………キム・ファルキンバーグ
アド/パブリシティ・スーパーバイザー
………チャールズ・リッピンコット
製作宣伝………………ブライアン・ドイル
スチール……………………ジョン・ジェイ

〈ミニチュア及びオプチカル効果班〉
第１カメラマン…リチャード・エドランド
第２カメラマン………デニス・ミューレン
カメラマン助手…………ダグラス・スミス
……………………ケネス・ラルストン
……………………デビッド・ロブマン
第２班撮影……………ブルース・ローガン
光学合成撮影
…ロバート・ブララック(ブラクシス)
光学撮影調整…………………ポール・ロス
オプチカル・プリンター操作
……………………デビッド・ベリー
……………………デビッド・マック

オプチカル・プリンター操作
……………………リチャード・ペコレラ
……………………エルドン・リックマン
……ジェームズ・バン・ツリーズ・ジュニア
光学撮影助手………カレブ・アシュキナゾ
……………………ジョン・C・モールズ
……………………ブルース・ニコルソン
……………………ゲイリー・スミス
……………………バート・テレリ
……………………ドナ・トレイシー
……………………ジム・ウェルズ
……………………ビッキー・ウィット
プロダクション・スーパーバイザー
……………ジョージ・E・メイサー
マット合成……ピーター・S・エレンショー
惑星及び衛星製作……ラルフ・マッカリー
イラストレーション及びデザイン効果
……………………ジョセフ・ジョンストン
アディショナル宇宙艇デザイン
……………………コリン・カントウェル
模型製作チーフ…グラント・マッキューン
模型製作……………デビッド・ビーズリー
……………………ジョン・アーランド
……………………ローン・ピーターソン
……………………スティーブ・ゴーリー
……………………ポール・ヒューストン
……………………デビッド・ジョーンズ
アニメーション及びロトスコープ・デザイン
……………………アダム・ベケット
アニメーター……………マイケル・ロス
……………………ピーター・クーラン
……………………ジョナサン・ショイ
……………………クリス・キャサディ
……………………リン・ゲリー
……………………ダイアナ・ウイルソン
ストップ・モーション・アニメーション
……………………ジョン・バーグ
……………………フィリップ・ティペット

ミニチュア爆発担当…ジョー・ビスコシル
……………………グレッグ・アウワー
コンピューター・アニメーション及びグラフィック・ディスプレー……ダン・オバンノン
……………………ラリー・キューバ
……………………ジョン・ウォッシュ
……………………ジェイ・ティーツェル
……………………イメージ・ウエスト
フィルム・コントロール・コオーディネイター………………メリー・M・リンド
フィルム・ライブラリアン
……………………シンディ・イスマン
……………………コニー・マックラム
……………………パメラ・マルーフ
エレクトリック・デザイン
……………………アルバ・J・ミラー
特殊機器担当……ジェイムズ・シャウアト
助　手……………………マサアキ・ノリヒロ
……………………エレノア・ポーター
カメラ及びメカニカル・デザイン
……………………ドン・トランブル
……………リチャード・アレキサンダー
……………………ウィリアム・シャウアト
特殊メカニカル装置
……………ジェリー・グリーンウッド
……………………ダグラス・バーネット
……………………スチュアート・ジフ
……………………デビッド・スコット
プロダクション・マネージャー
……………………ボブ・シェパード
……………………ロン・ティネイ
プロダクション・スタッフ
…パトリシア・ローズ・デュイグナン
……………………マーク・クライン
……………………ロンダ・ペック
……………………ロン・ネイザン
編集助手(オプチカル)
……ブルース・マイケル・グリーン









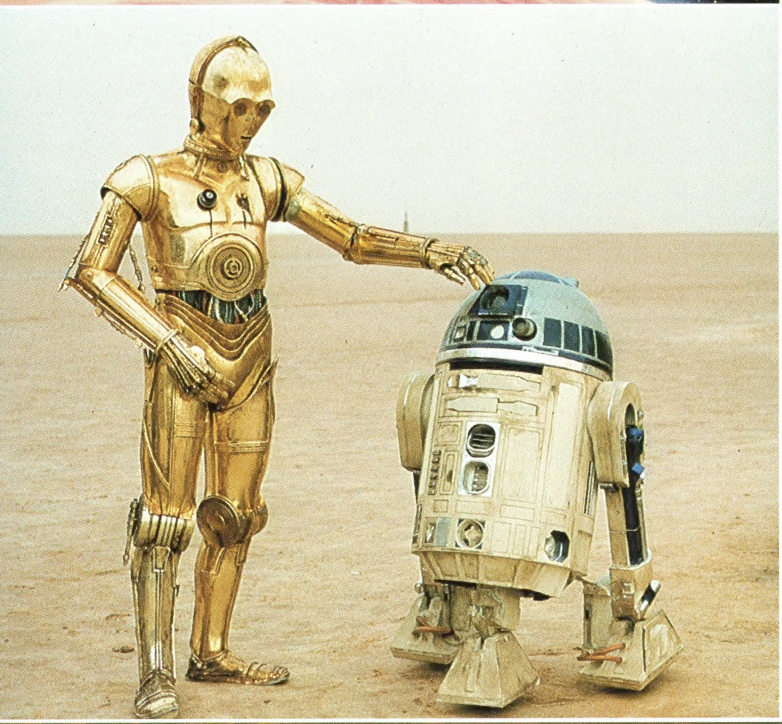
ルーク・スカイウォーカー
（マーク・ハミル）

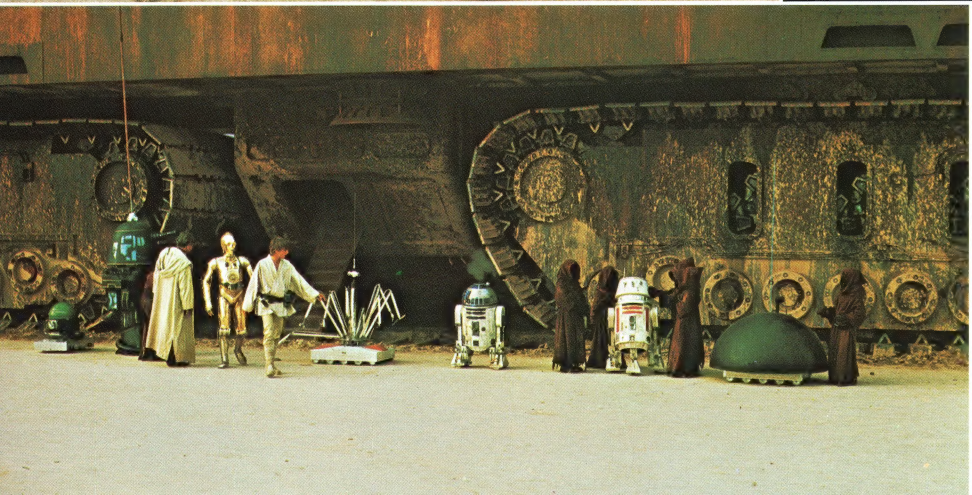
ルーク・スカイウォーカーは，叔父の牧場で水を生産する単調な労働に従事していたが，そこから抜け出すことを余儀なくされる。タトゥーインという地球から遠くはなれた惑星に住む20歳の農夫。この勇敢な血気にはやるヒーローは，王女が誘拐されたという，秘密のメッセージを受け取ると，王女を救出するために決然として立ち上り，遠い銀河系の惑星へ冒険の旅に出る。彼は一組のロボットを従え，銀河系大惑星帝国が誇るとって置きの武器「死の星」に戦いを挑む。



レーア・オーガナ姫
（キャリー・フィッシャー）

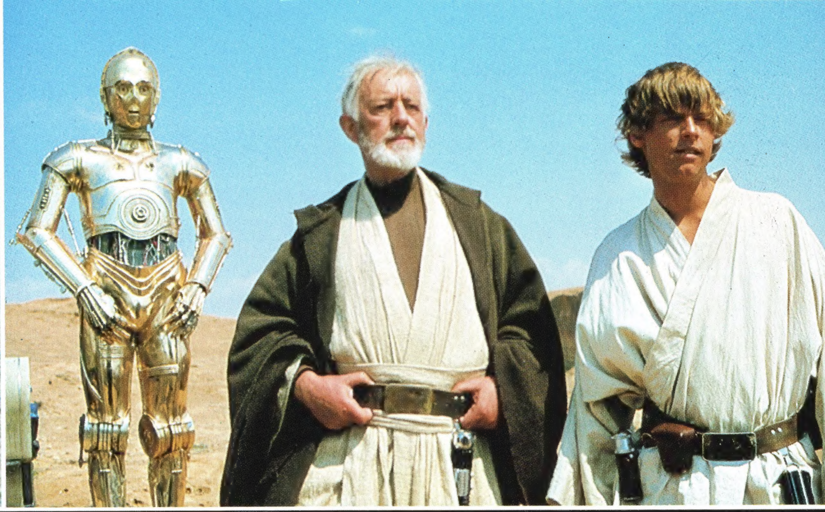
レーア姫は，かねてその政治的地位を利用し，帝国を陥れるための秘密情報の収集をつづけてきた。この意志堅固で，理智的な王女は，強力な銀河帝国の圧政に反対し，謀反を起す勢力の中心人物として活躍する。

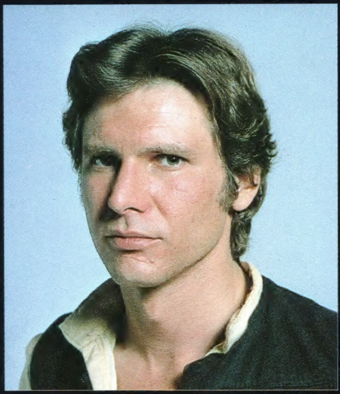












ハン・ソロ
（ハリソン・フォード）

ハン・ソロは，コレリアの宇宙海賊船ミレニアム・ファルコン号の自信過剰の船長。彼は毛むくじゃらな家来チューバッカを従え，帝国の法の手の届かぬ所であら稼ぎをしている。生来の向う見ずさが，彼を時々危地に陥れるが，その向う見ずの勇気が彼を窮地から救い出してくれる。



偉大なモフ・ターキン
（ピーター・カッシング）

偉大なモフ・ターキンは銀河帝国の属領地を統治する総督である。彼の皇帝になりたいという飽くなき野望は，彼をして自国内ににわかに拡がりつつある反乱の火ぶたを鎮圧するために，非情な手段をとるに到らしめる。彼はこの目的を達するために，巨大でしかも驚くべき破壊力をもつ戦闘ステーション「死の星」を建造したが，これは一つの惑星を全滅させる程の力をもっている。



ベン（オビ・ワン）ケノービ
（アレック・ギネス）

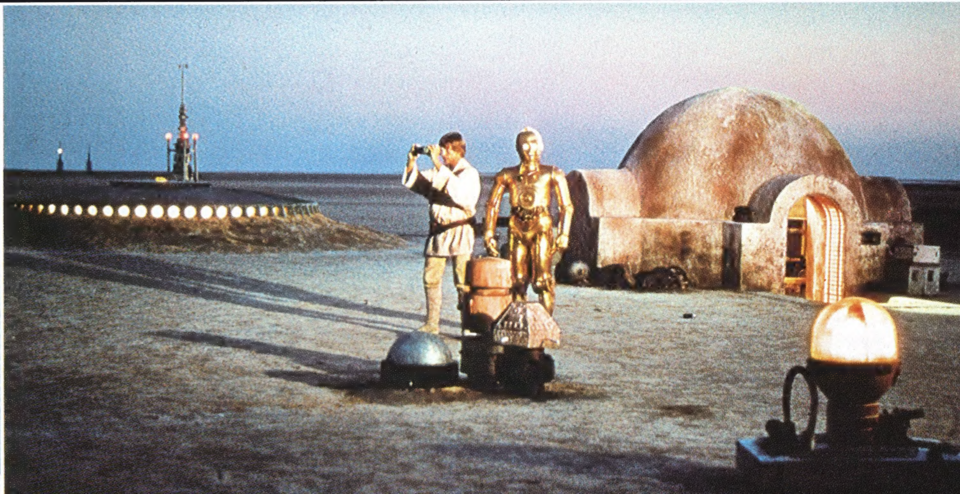
ベン・ケノービはタトゥーインでは尊敬されていたが，今では落ちぶれて山岳地帯に住んでいるアウトロー。老いたる砂漠の鼠のようなみすぼらしいなりをしているが，邪悪な銀河帝国が興る前は由緒ある共和国の最も偉大なる戦士の一人だった。老いたるといっても，ある分野に於いては特別の能力をもっているので，今でも帝国の主権者に恐れられている。



ダース・ベイダー
（デビッド・プラウズ）

ダース・ベイダーは銀河帝国の悪の化身である。この見るからに恐ろしく凶悪な怪人は，ゆったりした黒衣をまとい，いつもグロテスクな呼吸用スクリーンをとりつけたマスクで顔をかくしている。彼は皇帝の帝位を守り，ターキン総督が反乱軍を鎮圧するのを助けるために，その超感覚的能力を駆使するのである。





★STORY

かつては広大な銀河共和国によって統治され平和が保たれていた銀河系も，今では共和国が崩壊し，それにかわって出現した銀河帝国が独裁体制をしき，圧政によって銀河系全宇宙を制圧しようとしていた。

帝国の独裁に反対し，抵抗する少数の人々はアルデラーン惑星のレーア・オーガナ姫を中心に，惑星ヤービンに秘密基地を築いて，帝国打倒を秘かに計画していた。一方，帝国側も最終兵器「死の星（デス・スター）」を建造して，「反逆者」たちの秘密基地を発見しだい，惑星ごと抹殺しようと宇宙巡航艦の艦隊によって大捜索を展開していた。

レーア姫が帝国の宇宙巡航艦にとらえられたのは「死の星」の構造機密を盗んで逃げる途中のことだった。レーア姫の宇宙船が銀河帝国の悪の象徴とも言うべき親衛隊長ダース・ベイダーの率いる宇宙巡航艦（スペース・クルーザー）に捕獲され反乱軍の必死の抵抗も空しく鎮圧されたとき宇宙船から飛び出した球型脱出機があった。

脱出機は砂漠の小惑星タトゥイーンに着陸する。中から現れた一組のロボット，Ｃ−３ＰＯ（シー・スリーピオ）とＲ２−Ｄ２（アールツー・ディーツー）は砂漠をさまようちに，スクラップを収集してはそれを売って暮しているジャワ族に見つかり，とらえられてしまう。

セリ市でこのロボットたちを買い取ったのは，叔父夫婦と一緒に農場に住む若い農夫ルーク・スカイウォーカーだった。ルークは偶然にＲ２−Ｄ２の映像伝達回路に収められたレーア姫の救いを求めるメッセージを発見する。画面から訴えかけるレーア姫の表情に心動かされたルークだったが，しかし彼にはどうすることもできない。

Ｒ２−Ｄ２は他に救助の手を求めるべくルークの許を去る。後を追って砂漠へ入ったルークとＣ−３ＰＯは砂漠の蛮族タスケン・レーダーズに襲撃される。彼らの危機を救ったのは，ベン・ケノービと名乗る老人だった。彼こそかつての銀河共和国の高貴な精神の象徴であったジェディ騎士団の生き残り，勇士オビ・ワンだった。レーア姫がＲ２−Ｄ２に託したメッセージは勇士オビ・ワンの反乱軍への参加を請うものだったのだ。

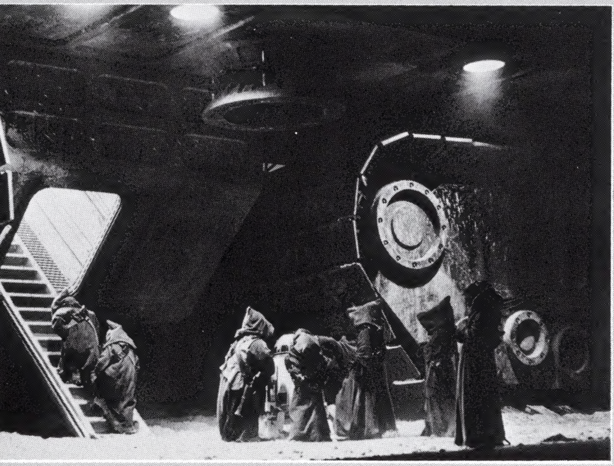
ベン・ケノービは，ルークが互いに尊敬し合っていたジェディ騎士団の一人の忘れ形見であったことを知ると，父の栄光をルークに語って聞かせ，レーア姫を救出するよう諭した。

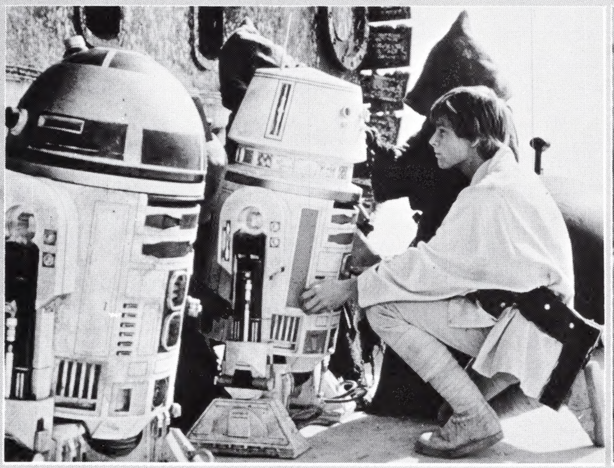
ベン・（オビ・ワン）ケノービ，ルーク，そしてロボットたちは宇宙船を調達するためにタトゥーイン惑星の宇宙空港のある街モス・イーズリーへやってくる。彼らの一行は，宇宙の密輸船長ハン・ソロとその右腕であるチューバッカのコンビの乗る宇宙船を買い取ることにしたが，レーア姫の宇宙船から脱出したロボットたちを追跡してきた帝国の突撃隊員がそこへ乗り込んでくる。ルークたちはハン・ソロとチューバッカの宇宙艇ミレニアム・ファルコン号に乗り込んで，タトゥーインを緊急脱出した。追ってくる帝国軍戦闘機のビームをワープ航法でかわし，別の空間にジャンプしたミレニアム・ファルコン号は，大隕石群の真っただ中へとび込む。これは帝国の属領総督グランド・モフ・ターキンが，捕えたレーア姫に「死の星」の偉力を誇示するために破壊した惑星の残骸だった。

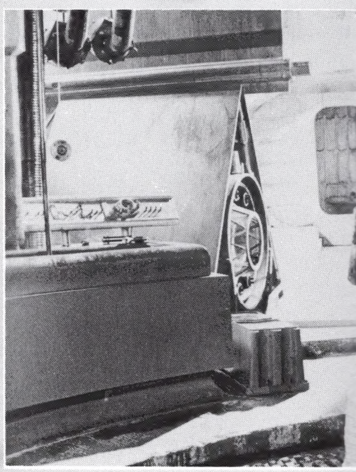
ミレニアム・ファルコン号は「死の星」の磁力ビームによって捕えられるが，激しい戦闘の末，レーア姫を救出して「死の星」から脱出することに成功する。しかしこの闘いでダース・ベーダーとの光線剣（ライト・サーベル）での一騎打ちに敗れたベン・ケノービは肉体を消滅させてしまう。

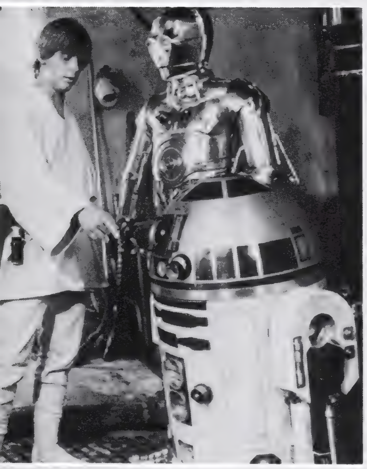
反乱軍の基地にレーア姫を連れ帰ったルークたちは，基地の惑星ヤービンに迫る「死の星」を迎え撃つべく決死隊を組織して飛び立つ。死闘の中，ルークが危機に陥ると，今では魂だけの存在となったベン・ケノービの声が聞こえ，彼の窮地を救う。闘いは反乱軍の勝利に終り，大爆発を起こした「死の星」は消滅するのだった。









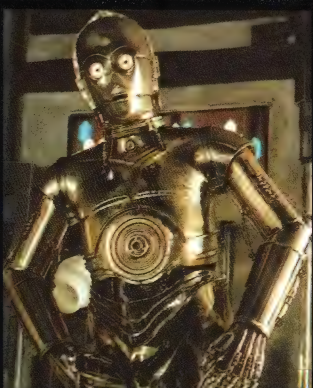













シー　スリーピオ
C-3PO
（アンソニー・ダニエルス）

シー・スリーピオは，キラキラ輝く金属で覆われた長身のロボット。彼は人間とロボット間の言葉の通訳が専門で，多数のロボットが話す電子語をはじめとして数々の銀河惑星語の通訳ができる。彼の人間のような風貌は，しばしば彼が見せる人間のようなしぐさとぴったりマッチしている。





アールツー・ディーツー
R2-D2
（ケニー・ベイカー）

アールツー・ディーツーは，一個のレーダー眼の廻りをいくつかの電子燈が取り囲んでできた高さ１メートルの円筒型の塊りのロボット。アールツーはコンピューターの情報修正を専業とする精巧なロボットで，電子音を使用することによってのみ他のロボットに話しかけることができる。そのゴツイ爪のついた両脚は，その怒りっぽく反抗的な性格の母体をいくつかの危険な事件の中に導いて行く。



チューバッカ
（ピーター・メイヒュー）

百歳になる毛むくじゃらな猿人，チューバッカは，ミレニアム・ファルコン号の操縦士の一人。この巨大な猿人は猿に似た顔をしているが，その大きな青い眼がその恐ろしい形相をやわらげている。唸り声に毛の生えた程度の言葉しか話せないが，感情がたかぶってくると耳をつんざくような叫び声を発する。





ジャワス

ジャワスは，タトゥーインの荒野を渡り歩きながら，くず鉄を拾い集めそれを売って歩く身長１メートルの生物。彼等は，ホコリと砂がいっぱいつまった粗末な外套を身にまとい，ネズミのようにせかせかと歩きまわる。これらの極度に神経過敏な生物は，のどの奥から出るしわがれ声にシューシューいう奇声を発しながら，早口にしゃべる。これらの神秘に包まれた生物は，鼻もちならぬ匂いを発し，それで引き付けた小さな昆虫を，口や鼻の代りにある穴から吸い込む。



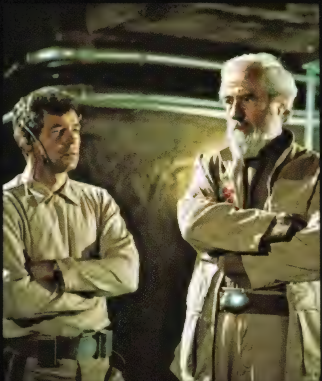
突撃隊員

突撃隊員は銀河帝国の戦闘員で，政府の手先として恐怖政治を遂行し，銀河帝国の市民を失意に陥れている。これらの恐るべき兵士たちは，白いよろい状の宇宙服に身を包み，冷淡に人権を無視してきびしい法律で市民を取り締まる。彼等がごう慢な総統官僚たちの個人的野望を実現するための手先として利用されることも珍らしくない。



タスケン・レイダー

タスケン・レイダーは，別名「砂人間」と呼ばれ，タトゥーインの二つの太陽光線から身を守るため，たくさんのボロ切れをまとっている。巨大で力の強い生物で，タトゥーインの最も荒廃した地方を渡り歩く流浪の民。凶暴な砂漠の匪賊である彼らは恐れを知らず，砂漠に住みついた移民から略奪の限りをつくす。彼らは侮ることのできない，辺境居住民族なのである。



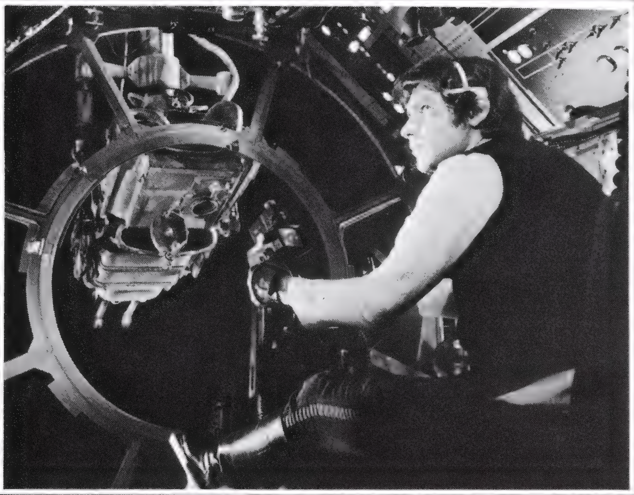
反逆者

自由をとりもどすため地下に潜った闘士たちの一団は，恐るべき銀河帝国の独裁に反対し戦いを挑む。いくつかの組織の中から馳せ参じた理想主義者や冒険家たちのグループで彼らは激化する暴虐を粉砕するために一致協力する。反乱軍の戦闘機は何億もある銀河の星に隠された要塞から変幻自在に出撃して，すでにいくつかの勝利を収めることに成功した。

★石上三登志

“スター・ウォーズ”には映画の面白さが全部集まっている





「それで結局あんた，『スター・ウォーズ』を何回見たの？」

「……7回。ついこないだパリで見た，フランス語版のやついれて……」

「あきれたもんだ。あきないの？」

「あきない……」

「どうして？」

「どうしてって……面白いからさ」

「どういう風に？」

「どういう風っていわれても，困るんだなァ。はっきりいってあなた，面白さってやつは，理屈じゃないものね。子供のころからずっと，俺はこういうのが見たかった……。だから，映画ファンになって，そんなのないかなと，いつも期待していた……。で，ついにめぐりあえた。そういう事……ね」

「なんだか，しまりがないなァ。という事はつまり，あんたは子供のころからこういったＳＦが好きだったわけ？」

「……というよりも，こういった映画が好きだったわけ」

「ＳＦ映画が？」

「あなた，ＳＦ映画なんて，そのころはまだ，そんなになかったよ。それに，ＳＦ映画じゃなくて，空想科学映画っていわれていたしね」

「『月世界征服』『地球最後の日』『宇宙戦争』……」

「そう，そういうものをひっくるめた“映画”ね。それが好きだったのさ」

「どういう映画さ？」

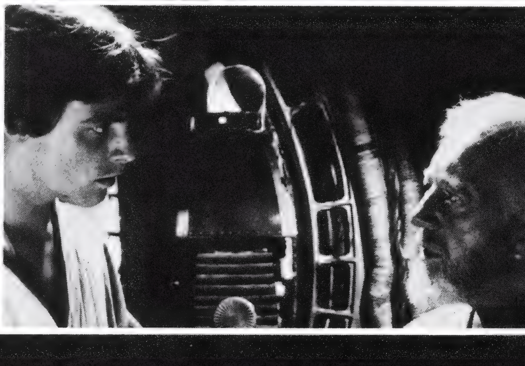
「どういうって，つまり子供でもワク

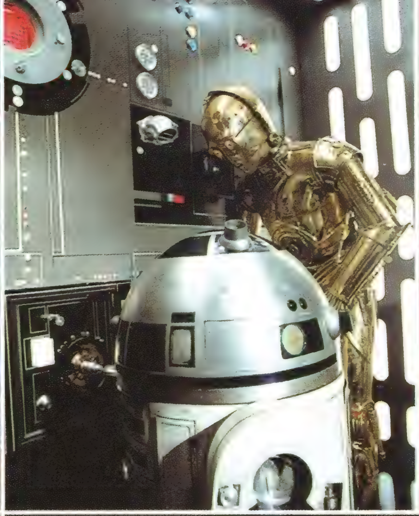


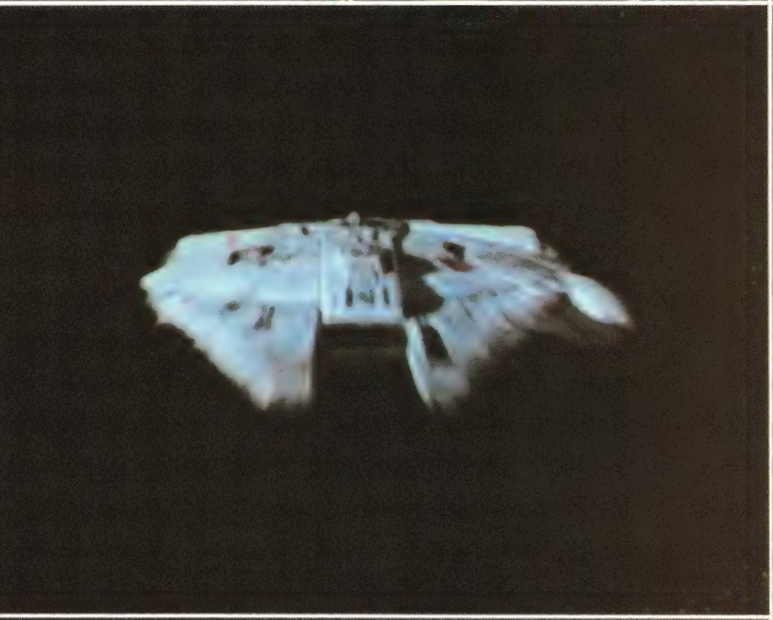
ワク楽しめる，そういう映画さね」
「ああ,西部劇なんかをひっくるめた，アクション映画ね」
「ちょっとニュアンスが違うんだな，アクション映画っていうとさ。つまり，『ターザンの復讐』とか『海賊ブラッド』とか『大平原』とか，ああいう映画はたしかにアクション映画なんだけど，だがもうちょっと……ね」
「わかったよ。活劇だろ？」
「そうそう，その活劇」
「同じ事じゃないか」
「いや違うよ」
「どうして？」
「つまり，今のアクション映画っては，作家が大人になった，というか，なりすぎたせいか，どうしてもアクションの本質論，暴力論に接近してしまうだろ。だから，アクションの持っている単純なカタルシスがなくなってしまい，子供でもワクワク楽しめるわけにはいかないんだな。ところが，昔の活劇は……」
「むしろアクションの持っているカタルシスのみを狙ったってわけか」
「そう，そうだと思うんだ。追跡，破壊，危機一髪，絶体絶命，反撃，大勝利……そんな語感の持っている，ワクワク気分ね。あれはアクション映画じゃなくて，活劇なんだろうね」
「で，そういうワクワク気分が『スター・ウォーズ』には一杯つまっているってわけ？」
「そうさ。たとえば，デス・スターの中で絶体絶命になったルーク・スカイウォーカーが，ワイヤー１本にお姫さまとぶらさがって，サーッと向う側にわたっちまうくだりね。あんなシーン最近あった？　昔の活劇には，たとえばターザン映画なんかその代表的な例だけど，もうやたらあったよね」
「西部劇は……？」
「西部劇ってより，西部活劇といってほしいね。そもそも，ガンベルトを腰にさげ，なぜかチョッキ・スタイルのハン・ソロがそうだろ？　その彼が，宇宙人のふきだまりみたいなサロンで，一発のもとに敵役をやっつけるところなんざ，西部活劇にはよくあったぜ。今じゃ，西部活劇どころか，西部劇すらロクにないもんね」
「それじゃ，剣戟映画は？」
「あるある，ダース・ベイダーとベン・ケノービ老の，レーザー剣による決闘ね。あれはその上，日本のチャンバラ映画に最も近いしね」
「そういえば，衣裳だってそんな感じだよな」
「黒沢明の時代劇ね」
「そうそう，お姫さまを守るなんて『隠し砦の三悪人』だよな，黒沢の……」
「それにクライマックスで，そのお姫さまに勇士たちが勲章なんかもらうだろ？　あのシーンは，もうほとんどなくなっちまった宮廷史劇そのままだものね」
「『海賊ブラッド』だって，あんな感じだったなァ」
「それから，忘れちゃいけないのが，戦争映画だね。たとえばＸ翼やＹ翼の戦闘機群でもって，デス・スターに総攻撃をしかけるところね。あれは，第二次大戦後に，ジェット戦闘機が出現し，そのスピード感を利用した戦争活劇が出てきたころの気分だね」
「ハン・ソロのミレニアム・ファルコン号から，レーザー速射砲を射ちまくるあたりは，第二次大戦の爆撃機映画の迫力ね」
「ね，色々あるだろ？　そして，そういう作品や，そういうシーンが，よくよく考えてみると，最近見あたらないだろ？」
「そういやあ，そうだよな。どうしてだろうね」
「つまり，最後の例が一番わかりやすいんだな。戦争映画の活劇的カタルシスってやつは，こう世の中が平和になってしまうと，なんか悪い事のように思えるんだね。戦争映画はむしろ否定すべきでだから反戦映画しか作られなくなってしまったんだ」
「という事は，かっての戦争映画は，むしろ好戦的だったわけね」
「そう，好戦。戦争映画にかぎらず，活劇はみんな好戦。その好戦ってやつは，本当は直接は戦争に関係なく，たとえばゲームやスポーツみたいに，むしろ人間にとって必要不可欠な娯楽だったはずなんだ」
「それが，今はすべて戦争に結びつけられて……」
「結局，単純明快な活劇をなくしちまった……」
「すると『スター・ウォーズ』は……？」
「つまり，ゲームとしての，あるいはスポーツとしての〝好戦〟を，ＳＦという姿を借りて，大々的に復活したってわけなのさ。それで，印象としては，かってのありとあらゆる活劇がつまっているって実感で……。だから俺なんかは，こういう映画こそを見たかったってわけ」
「単純だなァ」
「単純さ。人間なんて，自分が考えてるほど複雑じゃないんだよ。あなたも，理屈なんかぬきにして，とにかく何度も楽しんでみたら？　大人の遊園地に行くみたいにさ」

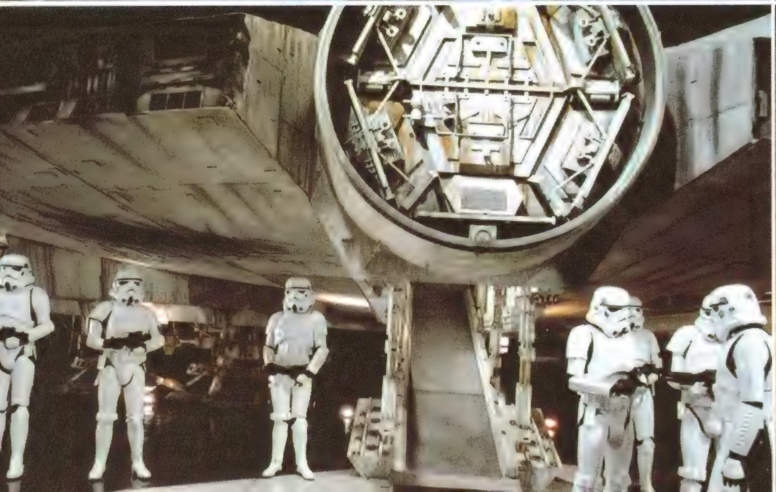










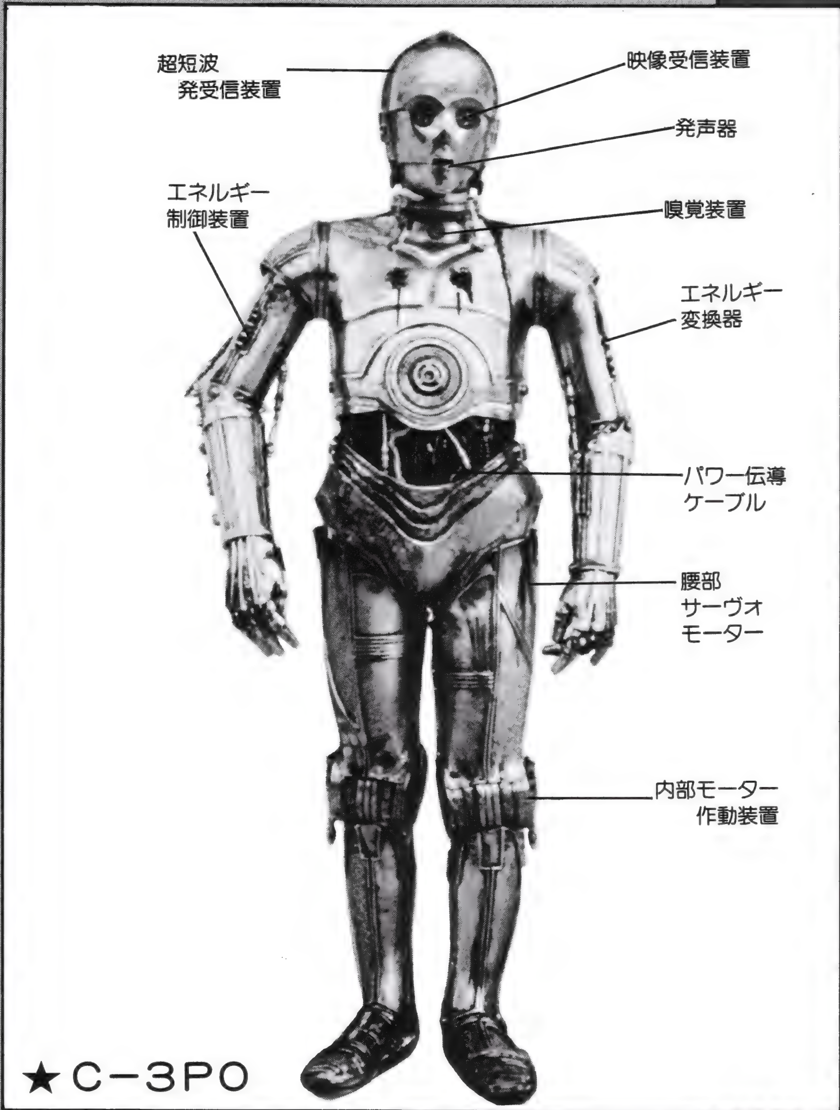








★MECHANICALS



★C−3PO



★X−ファイター

反乱軍の戦闘機。小型なのでデス・スターの警戒網を突破して攻撃する。再生した部品を整備して使っている。

★T.I.Eファイター

帝国軍の新鋭戦闘機。イオンエンジンを搭載し、高速でとびまわる。

★レーザー銃

ルークの銃▶





◀ハン・ソロの銃

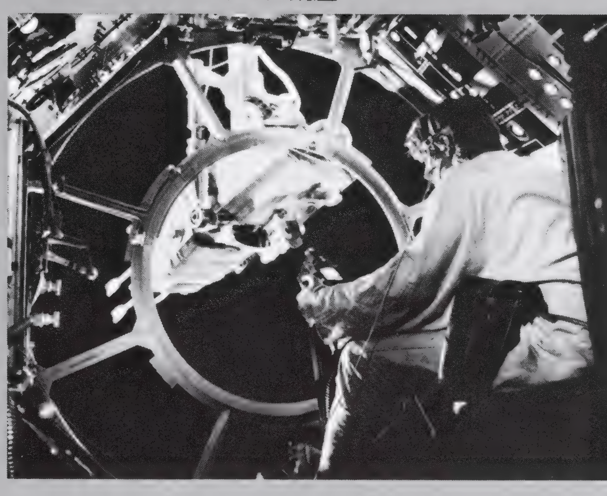
チューバッカの銃▶





◀突撃隊員の銃

▼ミレニアム・ファルコン銃座



▼同左





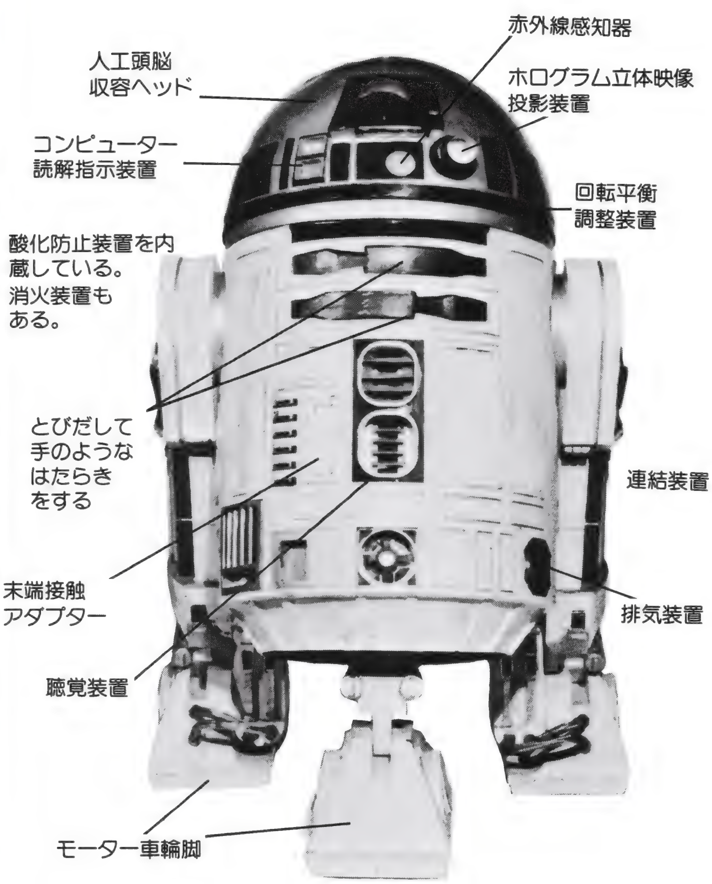
★デス・スター

銀河帝国の最終兵器で，帝国軍の根拠地。一つの惑星を完全に破壊できる火力を持つ。難攻不落を誇るが，唯一の弱点を反乱軍に攻撃される。

★Y−翼ファイター

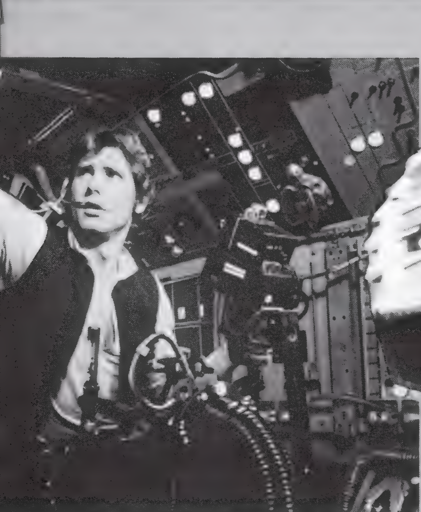
反乱軍の戦闘機。X−ファイターよりも大型で高性能ミサイルを積んでいる。

★R2−D2



★ミレニアム・ファルコン（黄金時代の鷹）

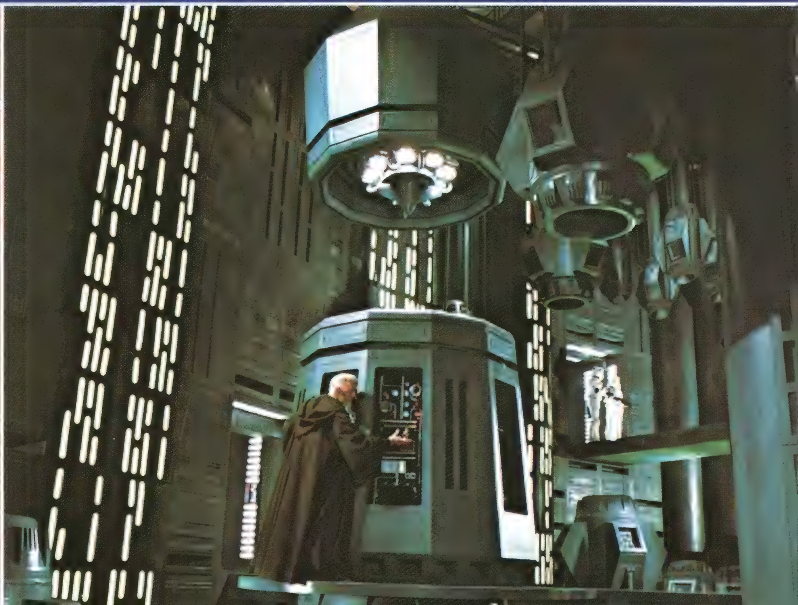
ハン・ソロの宇宙船。もとは普通の貨物船だったのを，ハン・ソロが改造し，密輸に耐えられるように高速・強力にした。





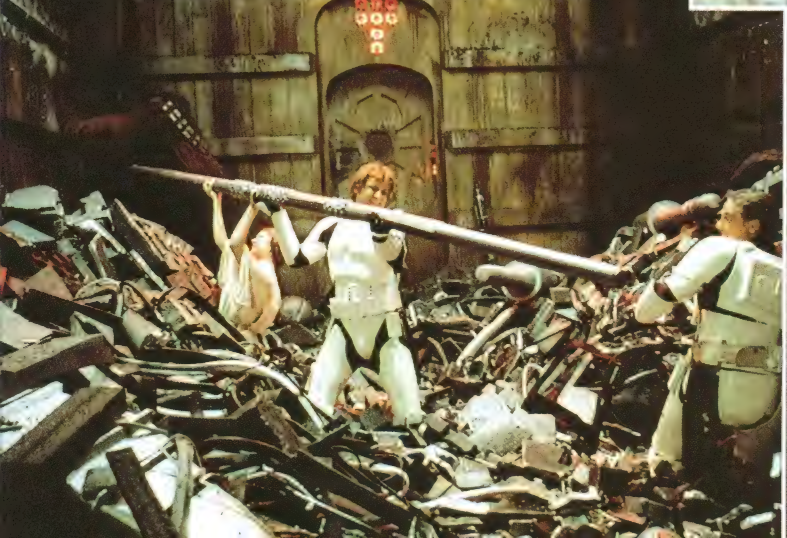


















★マーク・ハミル

1951年9月25日生まれ。30歳。退役海軍大佐の二男としてオークランド（カリフォルニア）に生まれた。高校時代の2年間，横浜，横須賀に住んでいた。ロサンゼルスのシティ・カレッジで演劇を専攻，映画出演は「エリックの青春」(TVムービーで，海外のみ劇場公開）があるだけだが，テレビでのキャリアは長い。70年に『ザ・ビル・コスビー・ショー』に出演したのを皮切りに『総合病院』『テキサス・ホイーラーズ』などのシリーズ，リンダ・ブレアと共演した『サラ・T，ある10代のアルコール中毒患者』，レイモンド・バーと共演した『マロリー』，パトリシア・ニールと共演した『ニール』など，それぞれ評判を呼んだTVムービー6本に出演してきた。148本を数える出演番組の中には「FBI」，「パートリッジ・ファミリー」などの作品もある。

「スター・ウォーズ」で映画デビューし，この後「コルベット・サマー」(78)，「最前線物語」(79)，「スター・ウォーズ/帝国の逆襲」(80)，「さよならジョージア」(81)，と活躍が続いている。

★キャリー・フィッシャー

1956年10月21日ビバリー・ヒルズに生まれる。父はエディ・フィッシャー，母はデビー・レイノルズ。13歳のとき，母と一緒に舞台に立って歌い，深く張りのある声で観客を驚かせた。17歳まで彼女は夏休み毎に母と一緒に舞台に立った。ショー・ビジネスの世界に生きることを決意してビバリー・ヒルズの高校を中退，ブロードウェイでリバイバル中だった『アイリーン』（主演デビー・レイノルズ）の舞台に立った。1年間のロング・ランの間，コーラス・ガールとしての舞台を勤めあげる。映画は「シャンプー」にほんの数分間，顔を見せただけだが，ウォーレン・ビーティをしつこく誘惑しようとする高校生を演じて強い印象を残し，『フォトプレイ』誌による「ニュー・カマー・オブ・ジ・イヤー」にノミネートされた。ロンドンの演劇学校で18ヵ月，演技を学び直してロサンゼルスに帰ってきた彼女を待っていたのがジョージ・ルーカスからのレーア姫のオーディションへの応募の誘いだった。多くの候補者の中から選ばれてこの役柄を演じた彼女は，引き続いてローレンス・オリビエ，ジョアン・ウッドワード主演のテレビ・ドラマ『カム・バック・リトル・シーバ』に出演した。

サラ・ローレンス大学でも演技と発声を学び，78年に来日。「ブルース・ブラザース」(80)，「スター・ウォーズ/帝国の逆襲」(80)，「虹の下で」(81)，があり，現在，「ジェダイ騎士の復讐」に出演している。

★ハリソン・フォード

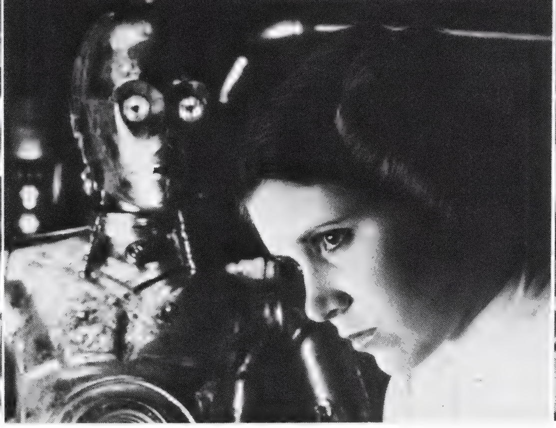
1942年7月13日，シカゴに生まれる。ウィスコンシンのリポン・カレッジを卒業した63年，同地のバラエティ・ショーの夏期興行（サマー・ストック）の舞台に立ったのを皮切りに舞台に立つようになる。カリフォルニアのラグナ・プレイハウスで『ジョン・ブラウンズ・ボディ』の舞台に出演中，コロムビア映画と7年間の出演契約を結ぶ。「現金作戦」，『LUV』，「大いなる砲火」，「…YOU…」などの作品に出演したが芽が出ず，ユニバーサルに移り『ジャーニー・トゥ・シロー』に出演，テレビの「鬼警部アイアンサイド」や「ガン・スモーク」「バージニアン」などにも出演したが，ここでもパッとせず70年には一時映画界を去ろうと考えたこともあった。彼に運が向いて来たのはジョージ・ルーカスの「アメリカン・グラフィティ」(73)，フランシス・フォード・コッポラの「カンバセーション…盗聴…」(74）に出演してからといっていい。コッポラの「地獄の黙示録」にも出演している。「ナバロンの嵐」(78)，「ハノーバー・ストリート」(78)，「スター・ウォーズ/帝国の逆襲」(80)，「レイダース/失なわれた聖櫃」(81)，「ブレード・ランナー」(82)に出演。

★アレック・ギネス

1914年4月2日ロンドンに生まれる。18歳で広告会社に入社，コピー・ライターとして1年半勤めるが，演劇を志してフェイ・コンプトンの演劇学校に入学。初舞台は34年の『侮辱！』という芝居の通行人の役。37年ジョン・ギールグッドが彼の才能を認めて特訓をほどこした。38年から39年にかけてオールド・ヴィク座で現代衣裳による「ハムレット」に主演，好評を呼んだ。41年，イギリス海軍に入隊，46年に除隊して「カラマゾフの兄弟」を脚色，ミーチャ役で主演，「リア王」(ローレンス・オリビエ主演）や「リチャード二世」に主演していたが，この同じ年，デビッド・リーン監督がディケンズの「大いなる遺産」を映画化，戦前の舞台でギネスが演じた同じ役柄を彼に与えた。このハーバート・ポケット役が彼のスクリーン・デビューである。引き続いて出演したリーンの作品「オリバー・ツイスト」でのスリの大親分フェイギンの演技で前作を上回る成功をとげ映画俳優としても評価を確立，以降舞台および映画でイギリスを代表する男優として様々な役柄を演じて活躍を続けている。アカデミー主演賞とニューヨーク映画批評家賞を受賞した「戦場にかける橋」(57)や「アラビアのロレンス」(62)，「ローマ帝国の滅亡」(64)，「ドクトル・ジバゴ」(65)，「クリスマス・キャロル」(70)，「ブラザー・サン・シスター・ムーン」(71）など忘れえぬ名演と出演作は数多い。

★ピーター・カッシング

1913年5月26日，イギリスのサリー州ケンリー生まれ。中等学校を出て測量技師の会社に事務員として勤めるという経歴あり。21歳のときコンノート・レパートリー劇団に加わり，更にいろいろな劇団の団員としてイギリスを巡演。39年1月，50ポンドの金を懐にしてハリウッドへ渡り，ルイス・ヘイワードの代役を勤めたり，キャロル・ロンバード主演の作


品やローレル・ハーディの作品に出演，41年にはニューヨークの舞台にも立った。同年イギリスへ戻ったが，医学的にみて軍隊生活に耐えられないという理由で軍隊へは行かずに済んだ。43年の「戦争と平和」でロンドンの舞台に立つ。舞台のかたわらテレビにも進出，53年と54年には「デイリー・メール」紙による「アクター・オブ・ジ・イヤー」に選出されるなど人気俳優としての地位を確立，さらに56年，ハマー・プロの「フランケンシュタインの逆襲」にフランケンシュタイン伯爵を演じて大成功を収め，以来クリストファー・リー演ずるドラキュラ伯爵の仇敵ヴァン・ヘルシングを演じるなど，60本を越える〝ホラー・フイルム〟のトップ・スターとしての地位を築く。ＢＢＣテレビのヒット・シリーズ『1984』『シャーロック・ホームズ』にも主演している。

★アンソニー・ダニエルス

1946年２月21日，イギリスのウィルシャー州サリスベリー生まれ。ロンドンの法律学校に学び，さらにマンチェスターで３年間ビジネス・スクールに通う。その後の３年間ケント州シドカップの演劇学校に籍を置いた彼は73年に卒業するとＢＢＣ放送にラジオ・ドラマを供給する会社と契約を結び，同時にロンドン近郊のワットフォードで舞台に立つ。ロンドンやヨーロッパを巡演するヤング・ビッグ座の一員として舞台活動を続けた。ヤング・ビッグ座がロンドンのクリテリオン劇場で上演した『ローゼンクランツとギルデンスターンは死んだ』は74年８月から76年３月までというロング・ラン。彼はこの舞台で主役のギルデンスターンを演じた。

★ケニー・ベイカー

1934年８月24日，イギリスのバーミンガムに生まれる。身長３フィート８インチ（約１メートル10センチ）16歳の時から３年間「バートン・レスターズ・ミジット」という小人の一座に加わる。次いでビリー・スマートの指揮するサーカスの座員として道化師などの役割を受け持つ。60年，同じ小人のジャック・パーヴィスと出会ってコメディ・ミュージカルのコンビを組み，「ミニ・トーンズ」と名乗ってキャバレーやバー，観光地などを巡り，イギリス国内だけでなくヨーロッパやアフリカまで足をのばす。映画デビューは『恐怖のサーカス』。また，スノードン卿がジャックと彼を追った『ボーン・トゥ・ビー・スモール』というＴＶドキュメンタリーは大きな話題となった。

★デビッド・プラウズ

年齢42歳，身長６フィート７インチ（約198センチ），胸囲50インチ（127センチ）1962年から連続３年間，イギリスの重量挙げヘビー級チャンピオンとして不敗という記録を持つ。イギリスの映画，テレビの世界で最も著名な〈大男〉であり出演作品，出演番組とともに数多い。ピーター・カッシングと共演してフランケンシュタインのモンスターを演じた『フランケンシュタイン・アンド・ザ・モンスター・フロム・ヘル』は特に名高い。74年にはロンドンのパラディアム劇場でデビー・レイノルズ，キャリー・フィッシャーの母娘と共演している。南ロンドンにあらゆる設備の整った体育クラブを経営している。映画出演は他に「続・恐竜の島」がある。

★ピーター・メイヒュー

1944年，ロンドンのバーンズに生まれる。身長７フィート２インチ（約215センチ）学校を出てから電気製品の卸し問屋に勤め，次いでデンマークヒル（ロンドン）のキングス・カレッジ・ホスピタルでポーターとなった。レイ・ハリーハウゼン監督「シンドバッド／虎の眼大冒険」（77）でミノタウルスを演じたのが映画デビュー。次いでこの作品のチューバッカ役を獲得した。







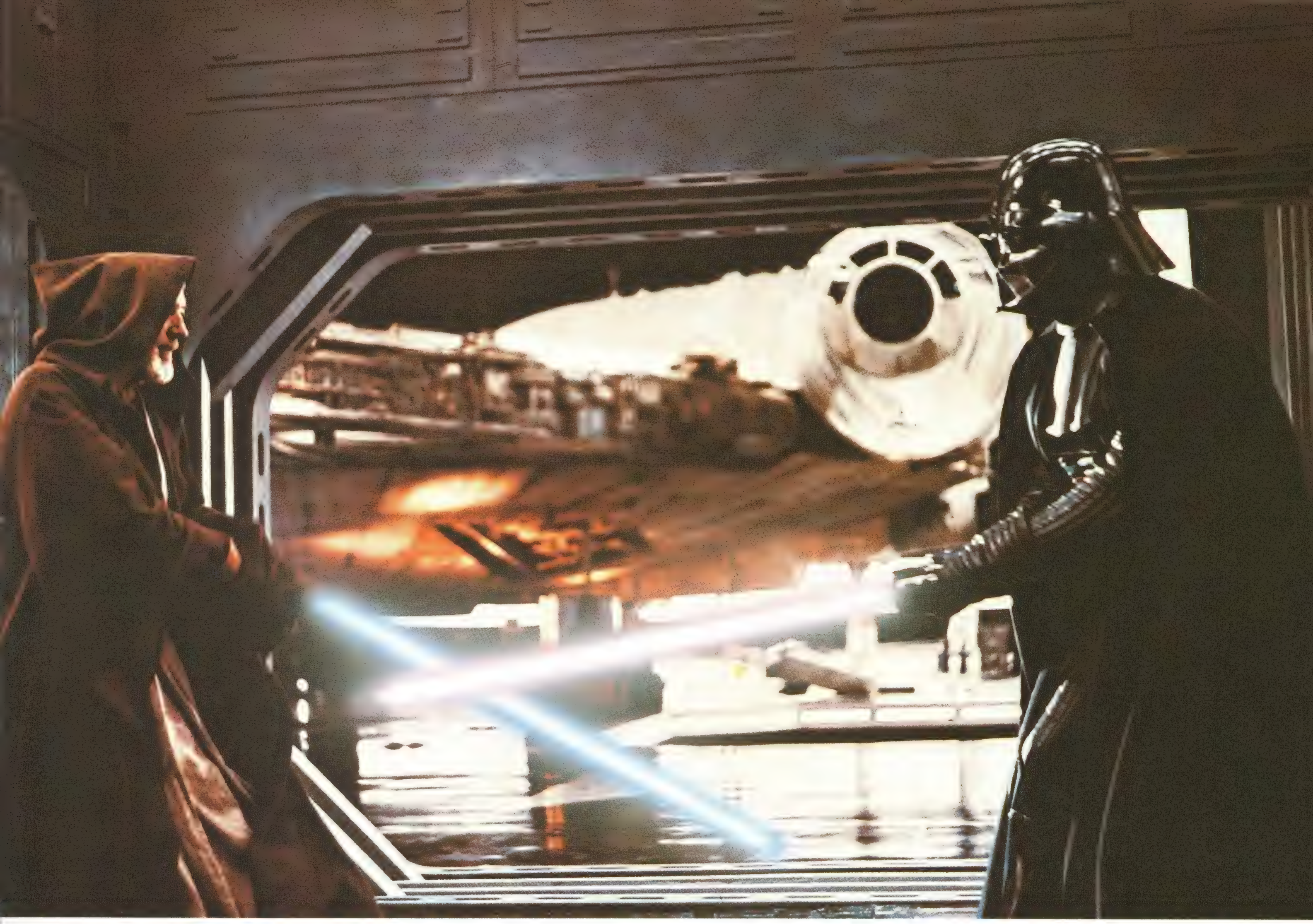
監督・脚本・原作
ジョージ・ルーカス
GEORGE LUCAS



1944年5月14日，カリフォルニアに生まれる。10代の頃の彼の興味の対象は車と絵の二つだった。カー・レースのチャンピオンになると心に決めていた彼はカスタム・カーを製作する工場で働きながらアメリカ中のカー・レースをピット・クルーとして巡り歩いていた。何度かの事故のため，高校卒業を前にしてレース・ドライバー志望を断念する。モデスト短期大学に入学して社会学を専攻していた頃，カメラマンのハスケル・ウエクスラーと知り合い，彼の勧めと推薦によって南カリフォルニア大学の映画学科に入り直す。在学中に８本の映画を製作。卒業後は同校の海軍のカメラマンを養成するクラスを教える助手となった。このクラスの半数の学生の協力を得て監督したSF短編“THX1138：４EB”が67年の全米学生映画祭でグランプリを獲得した。同年，カール・フォアマン監督の「マッケンナの黄金」の製作現場を取材し短編の記録映画にまとめる４人の学生の一人に選ばれた。ル





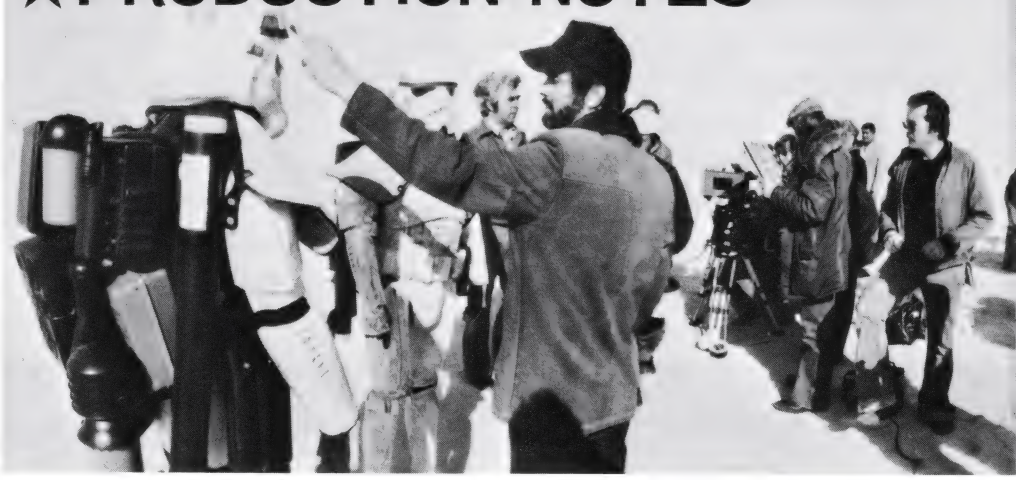


ーカスのフィルムは取材されたフォアマンの作品にもまして砂漠の謎めいた雰囲気をよく伝えるものとなり，４人の作ったフィルムのうちで，フォアマンの最も好むところのものとなった。次いでルーカスはワーナー・ブラザースからの奨学金を得て，「フィニアンの虹」の現場についてフランシス・フォード・コッポラ監督のもとで演出を学ぶことになる。続いてやはりコッポラの下について「雨の中の女」の演出助手を務め，同時に「フィルムメーカー」というタイトルのドキュメンタリーを製作。この作品は映画製作に関する最も秀れたドキュメンタリーの一つとされている。ルーカスのプロとしての最初の長編作品は学生時代の“THX1138：４EB”のシナリオを長編に書き直して製作した“THX1138”。エグゼキュティブ・プロデューサーをコッポラが務め，ロバート・デュバル，ドナルド・プリーゼンスが出演したこの作品は批評家たちと観客の双方から熱狂をもって迎えられた。73年，ルーカスはグロリア・カッツ，ウィラード・ハイアックとシナリオを共作した「アメリカン・グラフィティ」を監督，(プロデューサーはコッポラとゲイリー・カーツ）この作品は作品賞・監督賞・脚本賞などアカデミー賞５部門にノミネートされ，ゴールデン・グローブ賞の最優秀作品賞などの多くの賞を獲得した。妻のマーシャとは，彼のドキュメンタリーの編集にヴェルナ・フィールズの助手として彼女が参加してきた時に知り合った。





★PRODUCTION NOTES



★ジョージ・ルーカスが〝スペース・ファンタジー〟をつくりたいと考え始めたのは1971年もまだ早い頃だった。

「最初は『フラッシュ・ゴードン』の物語を映画でとりたいと思っていたんです。ディテールもそのままにね。でもキャラクターの映画化権が取れなかったのでアレックス・レイモンド（『フラッシュ・ゴードン』を最初に新聞に登場させた原作者）がどうやってこの作品をつくり出したか調べていったんです。彼はエドガー・ライス・バローズ（『ターザン』の原作者）の作品からインスピレーションを得ていたことが分かりました。特に『火星のジョン・カーター』というシリーズに影響を受けたようでした。このシリーズを読んでいくうちに，バローズにこれを書かせたのは，1905年に出版されたエドウィン・アーノルドの『火星のガリバー』を読んだ経験だったということが分かりました。このジャンルの最初の作品が『火星のガリバー』だったのです。ジュール・ヴェルヌが唯一の先行者であったことは確かですが，ヴェルヌは宇宙空間で異種生物と闘ったり異星上で冒険を繰りひろげるヒーローを作り出すことはしませんでした。ここから全く新しいジャンルが生まれたのです」

「『スター・ウォーズ』のアイデアを考えたのは『アメリカン・グラフィティ』の撮影を始める前でした。この作品を完成させて，すぐシナリオを書き始めました。73年の１月です。週に５日，一日に８時間，76年の３月に撮影を始めるまで書き続けました。撮影が始まってからも毎晩書き直しの作業を続けたんです。実はぼくは『スター・ウォーズ』のために全く違った４通りのシナリオを用意していたんです。映画のために最も適当な要素，キャラクター，ストーリーの流れを発見するためですが，これは物語をつくっていくためのグッド・アイデアじゃないかと思うんです」

「ぼくはアクション映画をつくりたいと思いました。『フラッシュ・ゴードン』がそうだったように宇宙を舞台にした物語です。宇宙船に乗って光線銃を撃ち合う，そんな映画です。宇宙空間いっぱいに展開する闘い，それに猛烈（ドッグ・ファイト）な闘いもほしいと思いました。老人と少年の物語も作りたい。そうも考えました。老人は現実にいるような老人であり，少年にとっては師となる，そんな老人と少年の関係です。この老人は勇士でもあるように設定しようと考えました。王女も登場させたいと思いました。彼女はただ美しいだけのひ弱な乙女にはしたくないと思いました」

「たくさんのラフ・プランを作っては書き直すという作業の中から最後にまとまった物語には，ぼくが今まで見たり読んだりしてきたサイエンス・フィクションやアクション・アドベンチャーの影響がはっきりと現われています。ぼくはそのことをうれしく思っています。ぼくはクラシックなスペース・ファンタジーをつくりたいと思いました。『スター・ウォーズ』にはこのジャンルの伝統があると思います。それはぼくが絶やしたくないと思っているものなんです」

★シナリオが完成してまず最初にやらなければならないことは，シナリオに示された新しい世界を眼に見える形にして示すという作業だった。ルーカスは「2001年宇宙の旅」で宇宙艇のデザインを担当したコリン・カントウエルに会った。プロダクション・イラストレーターのラルフ・マッカリーが登場人物，その衣裳，背景や景色のデッサンを始めた。

★プロデューサーのゲイリー・カーツは予算案を作成し，三つの大陸にまたがる撮影の事務的手続きを含む繁雑な製作準備にとりかかった。惑星タトゥーイン上のシーンのロケ地にはチュニジアの砂漠が選ばれ，屋内場面の撮影はロンドンのボアムウッドにあるＥＭＩのエルストリー・スタジオで行われることになった。九つの大ステージを同時に使用できる撮影所はアメリカにもイギリスにも，ここ以外にはない。

★この作品ではミニチュア撮影による特殊効果，オプチカルによる特殊効果の両方に十分力を入れることが要求された。75年10月，ルーカスとカーツはジョン・ダイクストラに特殊効果全体の総指揮を依頼した。既に研究開発されていた特殊効果の技術では『スター・ウォーズ』という作品に見合う効果が得られないと考えたダイクストラは「インダストリアル・ライト・アンド・マジック・コーポレーション」（ＩＬＭ）という名の，この作品のために新しい特殊効果技術をつくり出すための工場を新設した。ダイクストラ以下75人のスタッフの手によって『スター・ウォーズ』は360ヵ所の特殊効果による画面を持つことになった。映写時間の約半分が特殊効果による画面である。

ＩＬＭの工場では新しい特殊効果に必要な特殊カメラ，編集用機材，映写用機材などが開発された。撮影されたフィルムの画質を高めるため，ダイクストラはダブル・フレーム・フォーマットのメカニズムを考案，これに〈ダイクストラ・フレックス〉と名付けた。

別々のフィルムの画像をマット合成によって一つの画面に焼きつけるオプチカル・プリントのセクションでは，宇宙空間での爆発シーンに，これまでにないイメージを作り出すことに全力が傾けられた。

★美術監督のジョン・バリーと彼のスタッフは無数の小道具，大道具，そしてセットの設計と製作をしなければならなかった。彼らは普通のＳＦ映画に当り前のように登場する，傷ひとつない乗り物や光り輝くような建造物をつくることはしなかった。「スター・ウォーズ」に登場するこれらは，どれも使

いこまれたような様子を示している。ジョン・バリーは言う。「ジョージ(ルーカス）はどれもセットじゃなくロケで撮影されたように見えることを望んだんだ」

ルーカスは言う。「アポロ計画の宇宙飛行士が月から地球へ帰ってきたとき，彼らの乗っていたカプセルは既に真新しいピカピカ光ったものではありませんでした。家にある車と同じように見なれた様子をしていたと思います。それに『スター・ウォーズ』の舞台は，この地球とは時間的にも空間的にもまったく縁のないものなのです。これは決してこの地球を含む宇宙の未来の物語ではなく，銀河宇宙のいつか，どこかでの物語なのです。そして当然のことながら，それは使いこまれた時と場所なのです」

★映画には１ダース以上のロボットが登場してくるが，ロボットの主役はＣ－３ＰＯとＲ２－Ｄ２の二つだ。Ｃ－３ＰＯはプロダクション・イラストレーターのラルフ・マッカリー，アート・ディレクターのノーマン・レイノルズ，女流彫刻家リズ・ムーアの３人がデザインした。その他のロボットの製作は特殊効果を担当したジョン・スティアーズに任された。彼はロボットグを起用するという方法だった。

選ばれた５人について，ルーカスはこう語っている。

「彼らは秀れた俳優であるだけでなく，物語の登場人物それぞれと似かよった性格を持っていたのです。『スター・ウオーズ』のような映画の場合，登場人物とそれを演じる俳優が，客席から見て異和感のないことが重要なのです。彼らはそれぞれ，登場人物に生命を吹き込むことができました」

★惑星タトゥーインのシーンを撮影するロケ地を選ぶ作業は大変なものだった。他の銀河系の惑星という設定にふさわしい土地を探すためにアメリカ国内はもちろん，北アフリカ，中東の地域のあらゆる砂漠がマークされ，検討され，乾ききった地表と限りない地平線を示す格好の場所としてチュニジアの砂漠が選ばれた。

1976年３月，撮影隊と出演者たちは北アフリカとアラビアが出合い，サハラ砂漠が出合う地点，南チュニジアの小さな眠ったようなオアシスの街トゼウールに到着した。８週間かけて砂漠と街が異星の土地につくり変えられた。撮影はトゼウールからさほど遠くないチョッテ・エル・ジェリッドという塩水湖で開始され，ネフタから数マイル町だ。穴の中で生活を営む穴居人の町で，厳しい夏や冬の気候下で生きるための生活の知恵が穴倉暮らしというわけである。主人公ルークの家の屋内シーンはこのマトマタにあるシティ・ドリスで撮影された。

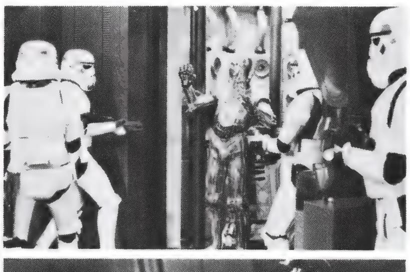
チュニジアでの２週間半の撮影を終えた一行はＥＭＩエルストリー・スタジオに移って，サウンド・ステージ九つを使用してジョン・バリーがデザインした30の大セットで撮影を続けた。Ｘ翼戦闘機，Ｙ翼戦闘機がずらりと並んだハンガーのシーンにはもっと広いスペースが必要だったため，ヨーロッパ随一の広さを誇るミドルセックス州のシェパートン・スタジオで撮らねばならなかった。英国での役者を使った撮影は14週間半掛った。

オプチカル処理をロサンゼルスのＩＬＭで８ヵ月掛けて終えたルーカスとカーツは編集作業に入ったが，これはサン・フランシスコ郊外のマリン・カウンティで行われた。

さらにタトゥーインの砂漠はデス・バレー，ヤービン・ジャングルはグァテマラの国立公園ティカルにあるマヤの遺跡でもそれぞれ撮影された。

★音楽を担当したジョン・ウィリアムスは，１年かけて構想を練り，77年３









の他には光線剣，陸上用乗物，各種の爆発物などを手掛けた。

★キャスティングは75年11月から３ヵ月の期間をかけて行われた。その方法はルーカスが「アメリカン・グラフィティ」で採用したものと同じものであり，主要な５人の登場人物のうち３人にはフレッシュな新人を選び，残る二つの役柄にはイギリスのベテラン，アレック・ギネスとピーター・カッシン離れたチュニジアの砂漠，トゼウールから外れた大火山峡谷などでもロケが続けられた。

★撮影開始の１週間目は激しい砂嵐に見舞われ，一行はゴーグルをかけなければならないほどだった。そして１日の撮影が終わるたびにカメラを徹底的に手入れをしなければならなかった。

次に一行はマトマタに移動。世界中で最も奇妙な町のひとつに数えられる月，87人編成のロンドン交響楽団を指揮して14回のセッションで90分のオリジナル音楽を録音した。

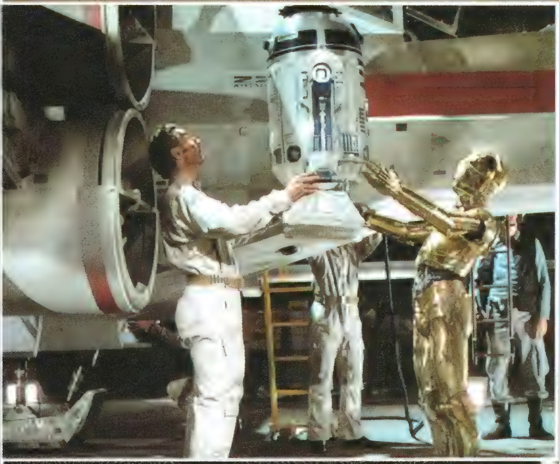
銀河帝国の言葉や地上快速艇，ロボット，武器などが発する音をつくり出したのはサウンド・エフェクト（音響効果）担当のベン・バート。ステレオのサウンド・トラックはサミュエル・ゴールドウィン・スタジオでドルビー・システムによって録音された。

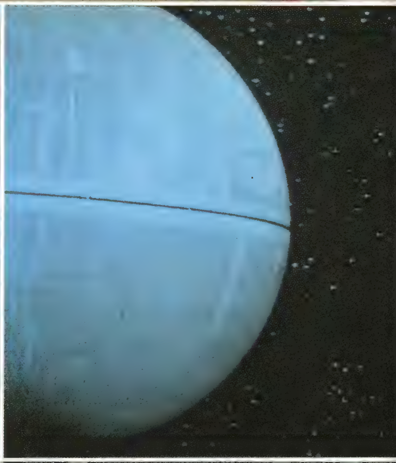


製作
ゲイリー・カーツ
GARY KURTZ

映画のプロデューサーには二通りある。その一方は昼食をとりながら取引きの話をすすめる企業家としてのプロデューサーであり，もう一方は映画が何よりも好きで，映画製作のすべての過程にわたって監督や脚本家や俳優たちが最高のものを出し得るよう気を配るプロデューサーである。後者の最もいい例がゲイリー・カーツだ。彼は脚本も書き，カメラも回し，編集もするというように映画製作の全過程の作業をみずから経験してきている。1940年にロサンゼルスに生まれた彼は，子供の頃から８㎜で映画をつくってきた。土地のバンドで演奏したり，学校演劇の舞台に立ったりしたが，映画は何よりも彼を魅きつけていた。南カリフォルニア大学の映画学科に在学中も多くのフィルムを演出し，撮影し，編集した。他の多くの若い映画人と同様，彼もまた製作者兼演出家のロジャー・コーマンによってプロとしての映画づくりへの道を開かれた一人だ。彼はコーマンの下で彼の製作・監督する低予算の恐怖映画，アクション映画の多くにかかわる。次いでモンテ・ヘルマンが監督し，ジャック・ニコルソンが主演した２本の作品，『ザ・シューティング』と『ライド・イン・ザ・ホイールウインド』の助監督とプロダクション・コオーディネイターをつとめる。カメラマン，編集者，スチール・カメラマンとして２年間海軍に籍を置いたのち，カーツは再び南加大に戻りいくつかの作品を編集した後，モンテ・ヘルマンの監督した「断絶」(71）とウォーレン・オーツ，レスリー・キャロン主演の探偵映画『チャンドラー』の共同製作者を務める。63年，コーマンの監督作「古城の亡霊」の製作現場で，やはりスタッフの一人として加わっていたフランシス・フォード・コッポラと出会う。そしてコッポラのサンフランシスコのスタジオを訪れた彼はジョージ・ルーカスと出会う（ルーカスが“ＴＨＸ1138”を撮影中のことだった)。そして，「アメリカン・グラフィティ」のアイデアをルーカスがカーツに話したことがきっかけになってカーツとコッポラはこの作品をプロデュースすることになる。



















★撮影/ギルバート・テイラー

1914年４月21日生まれ。29年にゴーモン・ブリティッシュ社に撮影助手として入る。同社をはじめ，いくつかのスタジオでカメラマンとしての仕事を続ける。ヒッチコックの「フレンジー」(72)，ロマン・ポランスキーの「袋小路」(66)，「マクベス」(71)，スタンリー・キューブリックの「博士の異常な愛情」(63)，リチャード・レスターの「ビートルズがやってくる／ヤァ！ヤァ！ヤァ！」(64)，などの作品の撮影を担当した。最近作は「オーメン」「ドラキュラ」「アウトランド」。

★音楽/ジョン・ウイリアムス

1932年ニューヨークに生まれる。カリフォルニア大学を卒業後，ジュリアード音楽院でピアノ，作曲，指揮法を学ぶ。当時からニューヨークのクラブなどでピアニストおよび歌手の伴奏指揮，編曲者として活躍，「プレイハウス90」などのテレビ・シリーズを始めとする約200本のＴＶ番組の音楽も手がける。「チップス先生さようなら」(70)，「ポセイドン・アドベンチャー」(73)，「タワーリング・インフェルノ」(74) など映画音楽の作曲は30作品を越える。アカデミー賞にノミネートされること11回，「屋根の上のバイオリン弾き」(72)と「ＪＡＷＳジョーズ」(76) の２作品で受賞している。

最近の主な作品に「ブラック・サンデー」「未知との遭遇」「スーパーマン」「メテオ」「帝国の逆襲」「レイダース」がある。

★編集/ポール・ハーシュ

「スター・ウォーズ」の編集チーフを勤める彼は現在31歳，「ダイナミック・フィルム」社のメッセンジャー・ボーイとしてこの世界に入り，後にコマーシャル・フィルムや予告篇，短篇映画の編集を手がけるようになる。「悪魔のシスター」(74)，「ファントム・オブ・パラダイス」(74)，「愛のメモリー」(76)，「キャリー」(77)などブライアン・デ・パルマ監督とのコンビが多い。

/マーシャ・ルーカス

69年には彼女の編集した『アン・インプレッション・オブ・ジョン・スタインベック：ライター』が短篇ドキュメンタリー部門でアカデミー賞にノミネートされた。編集助手として「雨の中の女」(69)，「アメリカを斬る」(70)，『ＴＨＸ1138』(71)，「候補者ビル・マッケイ」(72)，などの作品につき，ヴェルナ・フィールズと共に編集した「アメリカン・グラフィティ」(73)ではアカデミー編集賞にノミネートされた。他に「アリスの恋」(74)，「タクシー・ドライバー」(76)，「ニューヨーク・ニューヨーク」(77) などの作品も手がけている。

/リチャード・チュー

カナダのナショナル・フィルム・ボードやＣＴＶネットワークでドキュメンタリーのカメラマン兼編集者として働いていた。67年に彼が撮影・編集を担当した『ザ・レッドウッズ』が短篇ドキュメンタリー部門のアカデミー賞を受賞。彼はまた「ウッドストック」(70)で撮影を担当，ジョン・コーティ(「愛のファミリー」)の最初のテレビ映画『ザ・ピープル』の共同編集者も務めた。74年はウォルター・マーチと共に「カンバセーション…盗聴…」(74)，「カッコーの巣の上で」(76)で英国アカデミー賞の編集賞を受賞している。

★特殊視聴覚効果監督 ジョン・ダイクストラ

「2001年宇宙の旅」(68)の特殊効果を担当したダグラス・トランブルが主宰する「トランブル・フィルム・エフェクト」で特殊撮影や装置の考案にたずさわる。「アンドロメダ…」(71) や『サイレント・ランニング』(71，トランブル監督) でトランブルと共に働く。他に『ジャーニー・トゥ・ザ・アウター・プラネッツ』『ジャーニー・オブ・ザ・オセアノーツ』などの作品がある。また遊園地の乗り物のプレゼンテーションのためのシミュレーション用のデモンストレーション・フィルムも作っている。

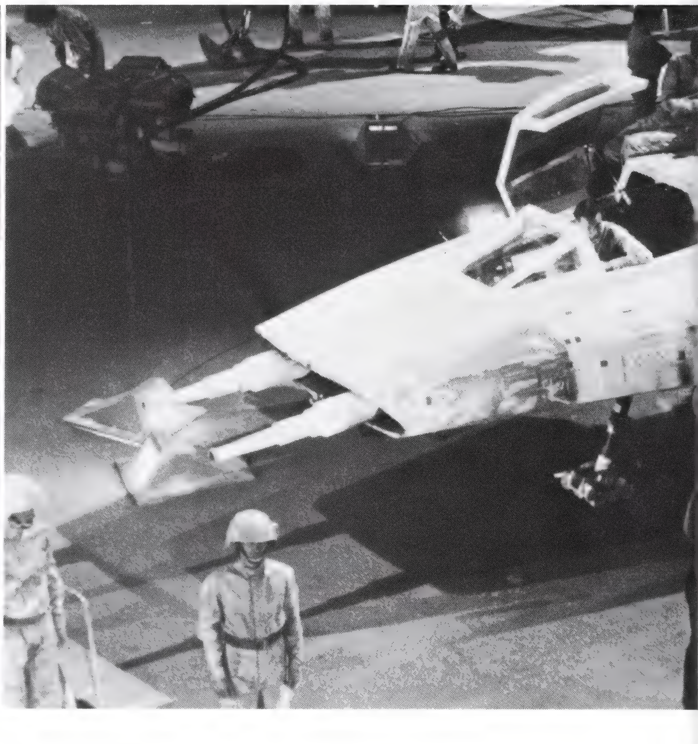
★美術監督/ジョン・バリー

最初にかかわった作品「クレオパトラ」(63)では神殿の柱石をデッサンするデザイナーだった。テレビの仕事を経て英国ＭＧＭの美術監督エリオット・スコットの助手となり「暗殺５時12分」「クロスボー作戦」(65) などの作品にかかわる。美術監督としての仕事には「時計じかけのオレンジ」(71) や「星の王子さま」(74)「ラッキー・レディ」(75)，「スーパーマン」(78) などがある。

★特殊撮影及びメカニカル効果/ジョン・スティアーズ

1934年イギリスのバッキンガムシャーに生まれる。56年から映画界に入り，ランク・オーガニゼイションでマット合成のスタッフとして働く。「チキ・チキ・バン・バン」(68) や007シリーズ(第２作，３作，４作，５作，６作，９作) の特殊効果を担当し，第４作「007／サンダーボール作戦」(65) では特殊効果部門のアカ





デミー賞を受賞している。

★衣裳デザイン/ジョン・モロ

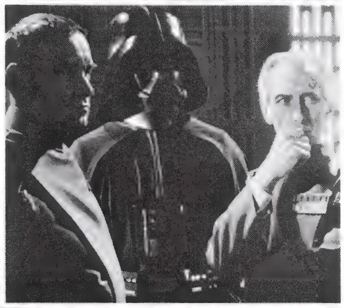
1931年ロンドン生まれ。ヨーロッパ及びアメリカの軍服に非常な興味を抱き，6冊の著書を書きおろしている。中でも1640年から1914年までの欧米の軍服について豊富なイラストつきで著した『ミリタリー・ファッション』という1冊はこの方面の著作の中で最も重要なものとされている。67年にトニー・リチャードソンの「遙かなる戦場」にテクニカル・アドバイザーとして招かれたのが映画にかかわるきっかけとなった。フランクリン・J・シャフナーの「ニコライとアレクサンドラ」(71)，スタンリー・キューブリックの「バリー・リンドン」(75) も彼がテクニカル・アドバイザーとして参加している。衣裳デザインを手がけたのは「スター・ウォーズ」が初めてである。

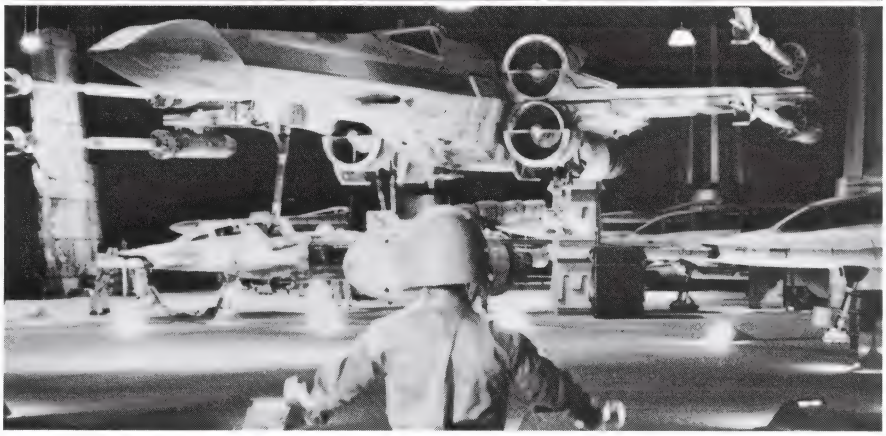
★メーキャップ
スチュアート・フリーボーン

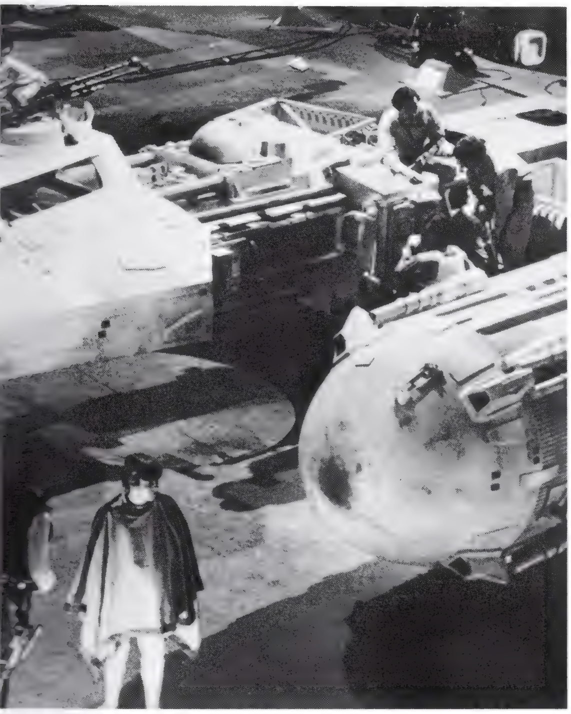
1936年以来，アレクサンダー・コルダ監督のもとで「バグダッドの盗賊」(40) を始めとする多くの作品のスタッフとして活動，47年以降フリーになって「オリバー・ツイスト」(48) から「戦場にかける橋」(57)「風とライオン」(75) まで多くの作品で活躍している。なかでも「博士の異常な愛情」(63) のピーター・セラーズのメーキャップ，「2001年宇宙の旅」(68) の猿のメーキャップ，「オリエント急行殺人事件」(76) のアルバート・フィニー(エルキュール・ポワロ役)のメーキャップは特に名高い。「オーメン」(76) では猛り狂う犬の群の “メーキャップ” を手がけた。



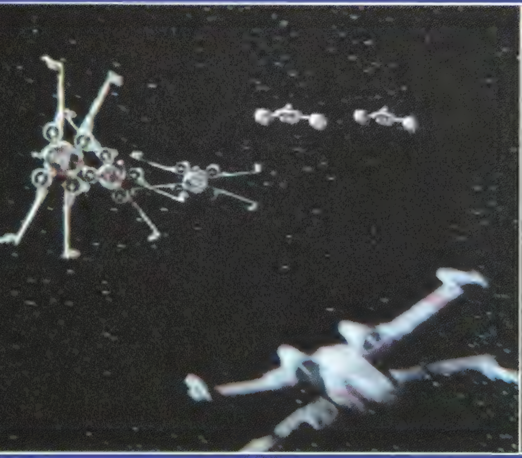
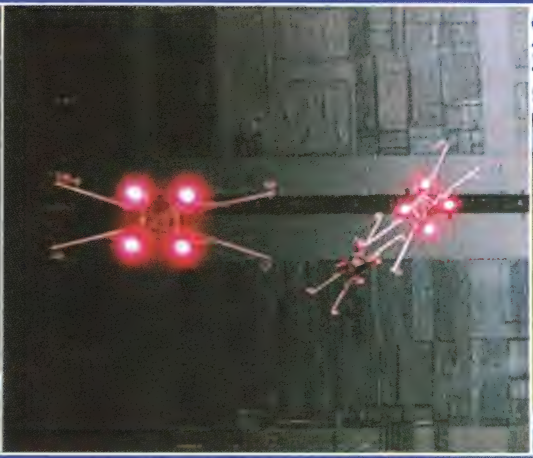
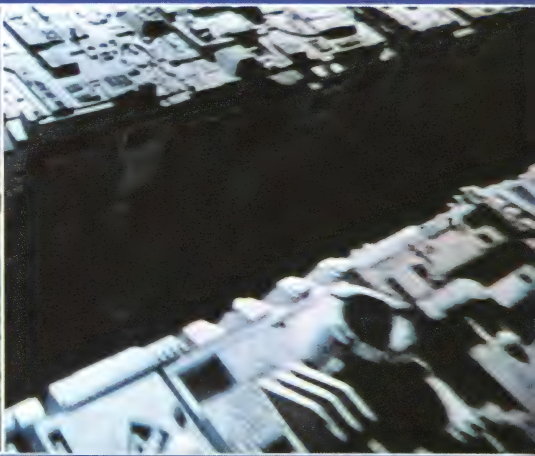
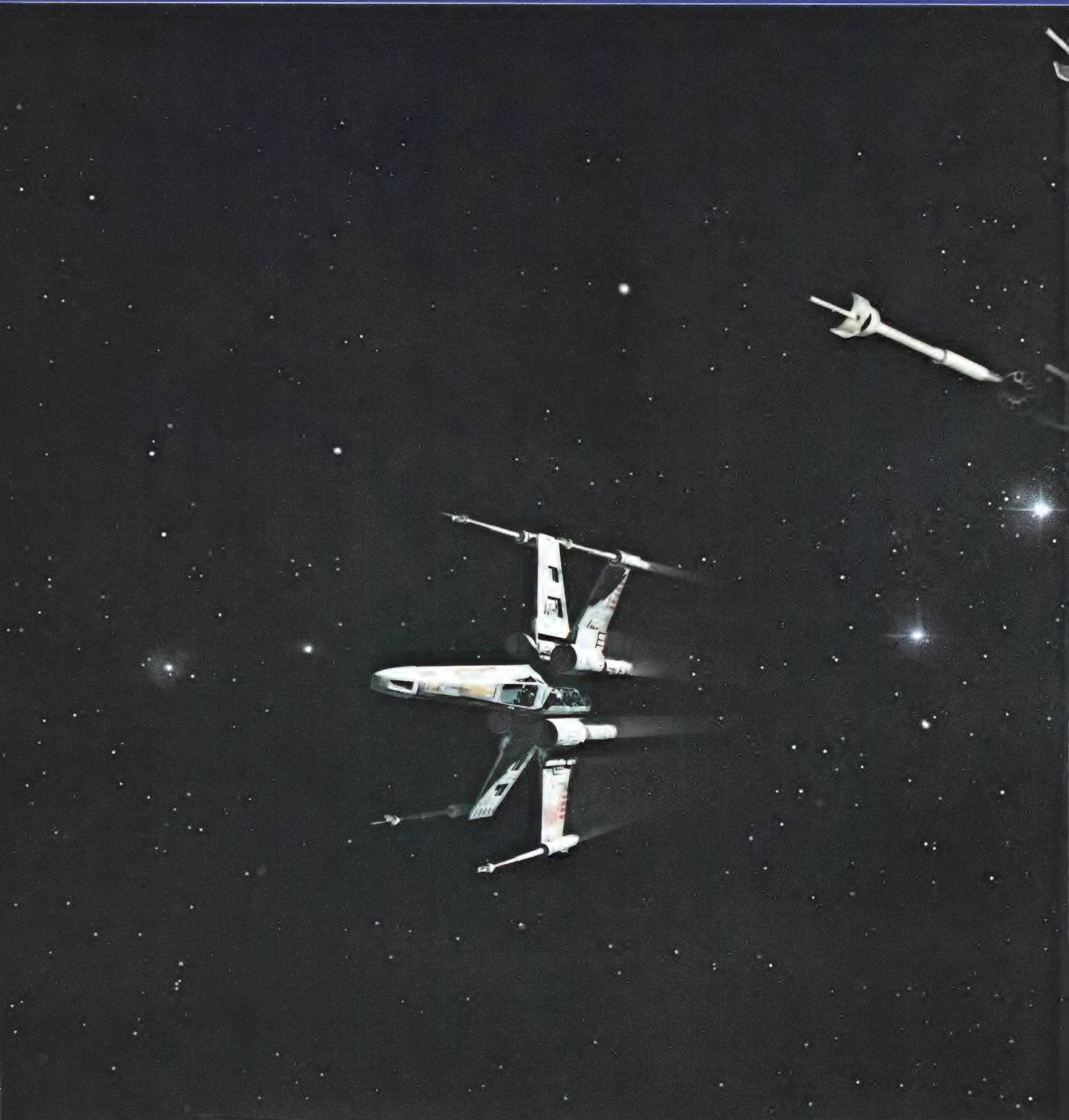


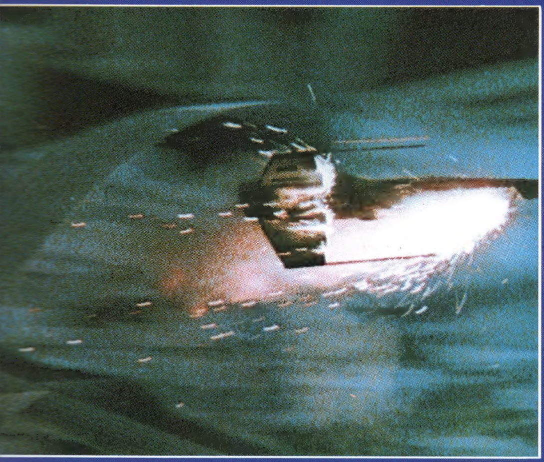




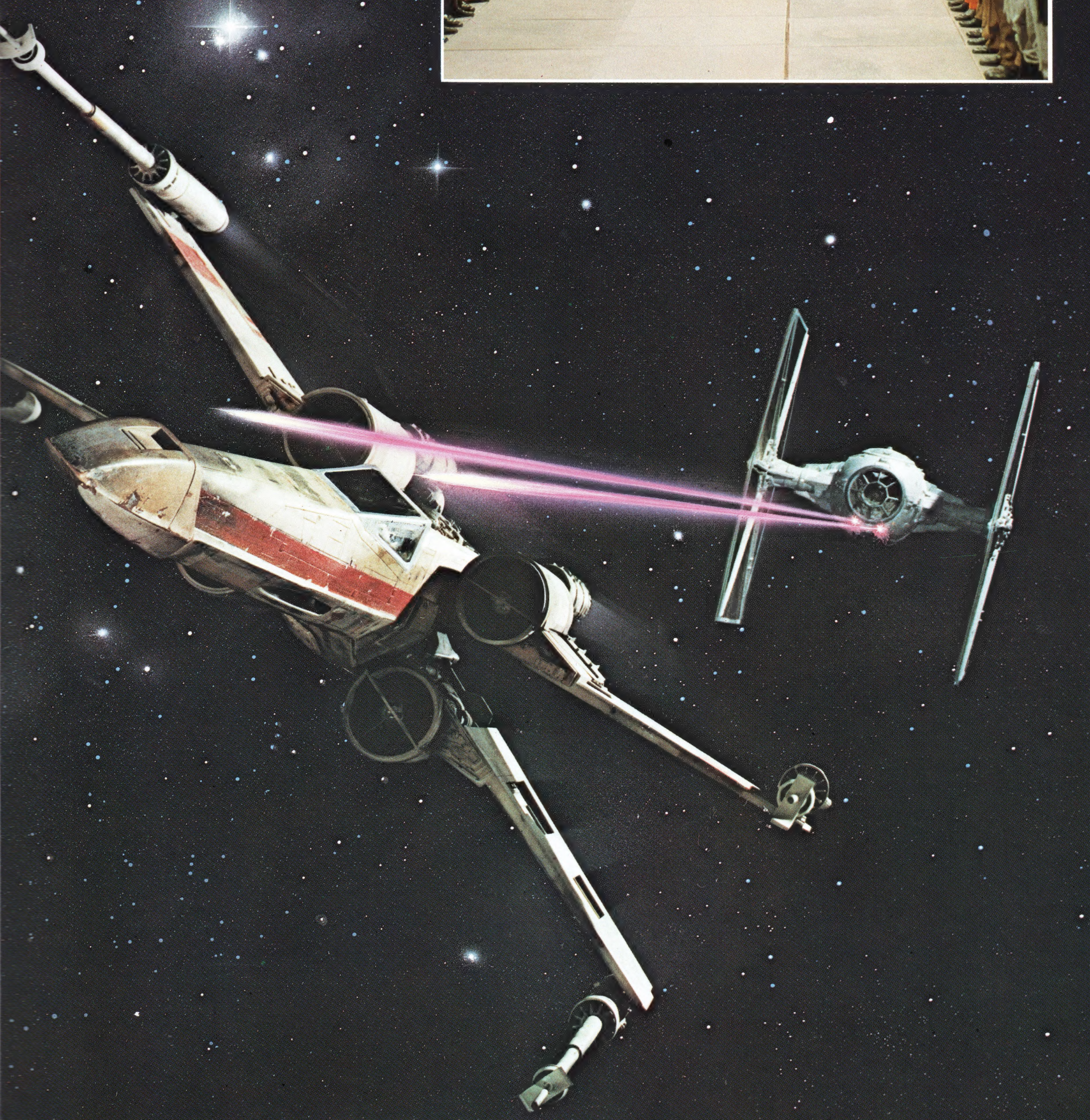










CAST

Luke Skywalker .... MARK HAMILL
Han Solo .... HARRISON FORD
Princess Leia Organa .... CARRIE FISHER
Grand Moff Tarkin .... PETER CUSHING
Ben (Obi-Wan) Kenobi .... ALEC GUINNESS
See-Threepio (C-3PO) .... ANTHONY DANIELS
Artoo-Detoo (R2-D2) .... KENNY BAKER
Chewbacca .... PETER MAYHEW
Lord Darth Vader .... DAVID PROWSE
Uncle Owen Lars .... PHIL BROWN
Aunt Beru Lars .... SHELAGH FRASER
Chief Jawa .... JACK PURVIS

REBEL FORCES

General Dodonna .... ALEX McCRINDLE
General Willard .... EDDIE BYRNE
Red Leader .... DREWE HENLEY
Red Two (Wedge) .... DENNIS LAWSON
Red Three (Biggs) .... GARRICK HAGON
Red Four (John "D") .... JACK KLAFF
Red Six (Porkins) .... WILLIAM HOOTKINS
Gold Leader .... ANGUS McINNIS
Gold Two .... JEREMY SINDEN
Gold Five .... GRAHAM ASHLEY

IMPERIAL FORCES

General Taggi .... DON HENDERSON
General Motti .... RICHARD LE PARMENTIER
Commander # 1 .... LESLIE SCHOFIELD

CREDITS

TECHNICAL CREW

Written and Directed by .... GEORGE LUCAS
Produced by .... GARY KURTZ
Production Designer .... JOHN BARRY
Director of Photography .... GILBERT TAYLOR, B.S.C.
Music by .... JOHN WILLIAMS
Perfomed by The London Symphony Orchestra
Special Photographic Effects Supervisor .... JOHN DYKSTRA
Special Production and Mechanical Effects Supervisor .... JOHN STEARS
Film Editors .... PAUL HIRSCH
MARCIA LUCAS
RICHARD CHEW
Production Supervisor .... ROBERT WATTS
Production Illustration .... RALPH McQUARRIE
Costume Designer .... JOHN MOLLO
Art Directors .... NORMAN REYNOLDS
LESLIE DILLEY
Makeup Supervisor .... STUART FREEBORN
Production Sound Mixer .... DEREK BALL
Casting .... IRENE LAMB
DIANE CRITTENDEN
VIC RAMOS
Supervising Sound Editor .... SAM SHAW
Special Dialogue and Sound Effects .... BEN BURTT
Sound Editors .... ROBERT R. RUTLEDGE
GORDON DAVIDSON
GENE CORSO
Supervising Music Editor .... KENNETH WANNBERG
Rerecording Mixers .... DON MacDOUGALL
BOB MINKLER
RAY WEST
MIKE MINKLER
LESTER FRESHOLTZ
RICHARD PORTMAN
Dolby Sound Consultant .... STEPHEN KATZ
Orchestrations .... HERBERT W. SPENCER
Music Scoring Mixer .... ERIC TOMLINSON
Assistant Film Editors .... TODD BOEKELHEIDE
JAY MIRACLE
COLIN KITCHENS
BONNIE KOEHLER
Camera Operators .... RONNIE TAYLOR
GEOFF GLOVER
Set Decorator .... ROGER CHRISTIAN
Production Manager .... BRUCE SHARMAN
Assistant Directors .... TONY WAYE
GERRY GAVIGAN
TERRY MADDEN
Location Manager .... ARNOLD ROSS
Assistant to Producer .... BUNNY ALSUP
Assistant to Director .... LUCY AUTREY WILSON
Production Assistants .... PAT CARR
MIKI HERMAN
Gaffer .... RON TABERA
Property Master .... FRANK BRUTON
Wardrobe Supervisor .... RON BECK

TECHNICAL CREW (Cont.)

Stunt Coordinator .... PETER DIAMOND
Continuity .... ANN SKINNER
2nd Unit Makeup .... RICK BAKER
DOUGLAS BESWICK
Titles .... DAN PERRI
2nd Unit Photography .... CARROLL BALLARD
RICK CLEMENTE
ROBERT DALVA
TAK FUJIMOTO
2nd Unit Art Direction .... LEON ERICKSON
AL LOCATELLI
2nd Unit Production Managers .... DAVID LESTER

STAR WARS

PETER HERALD
PEPI LENZI
Assistant Sound Editors .... ROXANNE JONES
KAREN SHARP
Production Controller .... BRIAN GIBBS
Location Auditor .... RALPH M. LEO
Assistant Auditors .... STEVE CULLIP
PENNY McCARTHY
KIM FALKINBURG
Advertising / Publicity Supervisor .... CHARLES LIPPINCOTT
Unit Publicist .... BRIAN DOYLE
Still Photographer .... JOHN JAY

MINIATURE AND OPTICAL EFFECTS UNIT

1st Cameraman .... RICHARD EDLUND
2nd Cameraman .... DENNIS MUREN
Assistant Cameraman .... DOUGLAS SMITH
KENNETH RALSTON
DAVID ROBMAN
2nd Unit Photography .... BRUCE LOGAN
Composite Optical Photography .... ROBERT BLALACK (PRAXIS)
Optical Photography Coordinator .... PAUL ROTH
Optical Printer Operators .... DAVID BERRY
DAVID McCUE
RICHARD PECORELLA
ELDON RICKMAN
JAMES VAN TREES, JR.
Optical Camera Assistants .... CALEB ASCHKYNAZO
JOHN C. MOULDS
BRUCE NICHOLSON
GARY SMITH
BERT TERRERI

DONNA TRACY
JIM WELLS
VICKY WITT
Production Supervisor .. GEORGE E. MATHER
Matte Artist .... P. S. ELLENSHAW
Planet and Satellite Artist .... RALPH McQUARRIE
Effects Illustration and Design .... JOSEPH JOHNSTON
Additional Spacecraft Design .... COLIN CANTWELL
Chief Model Maker .... GRANT McCUNE
Model Builders .... DAVID BEASLEY
JON ERLAND
LORNE PETERSON
STEVE GAWLEY
PAUL HUSTON
DAVID JONES
Animation and Rotoscope Design .... ADAM BECKETT
Animators .... MICHAEL ROSS
PETER KURAN
JONATHAN SEAY
CHRIS CASADY
LYN GERRY
DIANA WILSON
Stop Motion Animation .... JON BERG & PHILIP TIPPET
Miniature Explosions .... JOE VISKOCIL
GREG AUER
Computer Animation and Graphic Displays .. DAN O'BANNON
LARRY CUBA
JOHN WASH
JAY TEITZELL
IMAGE WEST
Film Control Coordnator .... MARY M. LIND

Film Librarians .... CINDY ISMAN
CONNIE McCRUM
PAMELA MALOUF
Electronics Design .... ALVAH J. MILLER
Special Components .... JAMES SHOURT
Assistants .... MASAAKI NORIHORO
ELEANOR PORTER
Camera and Mechanical Design .... DON TRUMBULL
RICHARD ALEXANDER
WILLIAM SHOURT
Special Mechanical Equipment .... JERRY GREENWOOD
DOUGLAS BARNETT
STUART ZIFF
DAVID SCOTT
Production Managers .... BOB SHEPHERD
LON TINNEY
Production Staff ... PATRICIA ROSE DUIGNAN
MARK KLINE
RHONDA PECK
RON NATHAN
Assistant Editor (Opticals) .... BRUCE MICHAEL GREEN

MODERN FILM EFFECTS
RAY MERCER & COMPANY
VAN DER VEER PHOTO EFFECTS
MASTER FILM EFFECTS
DE PATIE-FRELENG ENTERPRISES, INC.

FILMED IN PANAVISION
COLOR BY TECHNICOLOR

PRINTS BY DELUXE

このパンフレットは2005年に復刻されたものです。

定価 350円

昭和53年6月23日印刷
昭和53年6月24日発行

発行所 東京都千代田区有楽町1-2-1 東宝株式会社事業部
発行者 東京都千代田区有楽町1-2-1 大橋雄吉
© 発行権者 東京都中央区銀座3-10-9 (東京フィルムビル)
廿世紀フォックス極東映画会社
印刷所 東京都港区芝2 1 28 成旺印刷株式会社


20th CENTURY FOX
東宝